
ケアマネジャーによる 特養のショートステイに対する意識調査 報告書

【目次】

1 調査について

(1) 調査の趣旨と方法	1
(2) 調査結果（概要）	2
(3) 調査結果（詳細）	4
(4) 区市町村ブロック別データ（データ抜粋）	12

2 参考資料

調査票	22
ショートステイのあり方検討委員会 委員名簿	25

平成29年3月

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

特養分科会 ショートステイのあり方検討委員会

1 調査の趣旨と方法

1 調査目的

- (1) 都内居宅介護支援事業所のケアマネジャー（介護支援専門員）の特養ショートステイ（短期入所生活介護）の利用状況から現状と課題を明らかにするため。
- (2) 平成28年1月に実施した「ショートステイの現状把握調査」（対象：本会の特養でショートステイを実施している事業所）を参考値として、ケアマネジャーと特養ショートステイ事業所の課題意識を比較し、検証する。
- (3) 国や東京都、区市町村に対する政策提案の上での基礎資料とする。

2 調査内容

居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー（介護支援専門員）の特養ショートステイ（短期入所生活介護）事業の利用状況とその関連情報。

3 調査対象

- (1) 東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会のうち居宅介護支援事業実施会員
- (2) 八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員
- (3) 東京都介護支援専門員研究協議会会員 研修参加者
※平成28年9月11日に開催された研修会の参加者に対し、同会の協力を得て調査票を配布した。

4 調査時期

平成28年9月5日～9月26日

5 調査方法

- (1) (2) FAXにて調査票を配布し、FAXによる回収
- (3) 研修会の会場にて調査票を配布し、研修会終了時に回収

6 回収状況

対象	配布数	有効回答数	回収率 (%)
東京都介護保険居宅事業者連絡会 居宅介護支援事業実施会員	249	141	56.6
八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員	96	62	64.6
東京都介護支援専門員研究協議会会員 研修参加者	200	73	36.5
総計	545	276	50.6

配布数に対する全体の回収率と有効回答率はともに50.6%であった。

7 調査協力

一般社団法人 八王子介護支援専門員連絡協議会
特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

ケアマネジャーによる特養シヨーステイに対する意識調査結果（概要）

平成29年3月 / 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 シヨーステイのあり方検討委員会

○高齢者向けシヨーステイ(短期入所生活介護)事業の課題整理・現状把握を目的に、都内居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー(介護支援専門員)を対象に実施した調査の結果。

○担当エリア内のシヨーステイ事業所の充足状況について、「充足していないと思う」居宅介護支援事業所は35.6%。

○居宅介護支援事業所が特養のシヨーステイ利用につなぐ上でネックとなった医療処置は、「インスリン注射」(22.2%)、「喀痰吸引」(39.6%)、「胃ろうの管理」(36.9%)。

○シヨーステイ事業所の充足状況や、医療処置が必要な利用者へ対応などの面で、ケアマネジャーと特養シヨーステイ事業所との間に課題意識の違いが浮き彫りになった。

○参考値として、平成27年度実施「シヨーステイの現状把握調査」(実施:東京都高齢者福祉施設協議会、対象:都内特養のシヨーステイ実施事業所)で類似の回答結果を掲載した。

【調査対象】 都内居宅介護支援事業に関する団体の会員事業所(545施設)
 【調査期間】 平成28年9月5日～9月26日
 【回答の状況】 回答率50.6%(276事業所)

関係団体	対象数	回答数	%
東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会	249	141	56.6
居宅介護支援事業実施委員会			
八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員	96	62	64.6
東京都介護支援専門員研究協議会会員 研修参加者	200	73	36.5

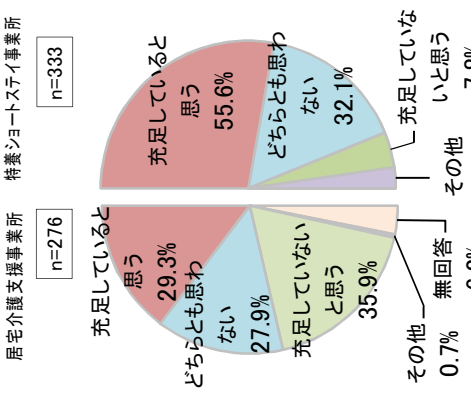
1 シヨーステイ事業所の充足状況

○担当エリア内のシヨーステイ事業所の充足状況について、35.6%の居宅介護支援事業所は「充足していないと思う」と回答している。

○一方で、56.6%の特養シヨーステイ事業所は「充足していると思う」と回答している。

【担当エリア内 シヨーステイ事業所の充足状況】(n=276)

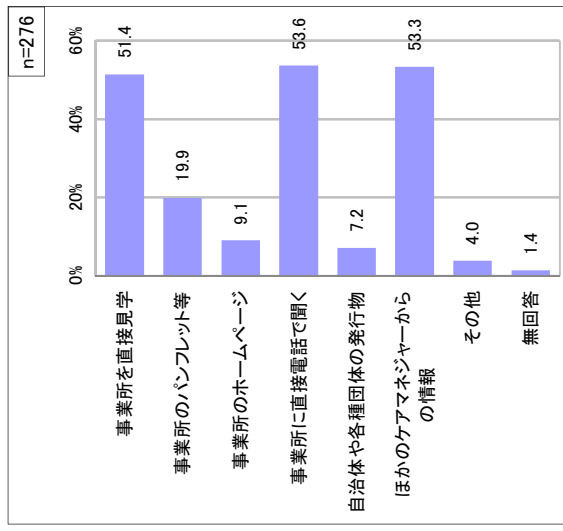
選択肢	居宅介護支援事業所		特養シヨーステイ事業所 (参考:平成27年度調査)	
	回答数	%	回答数	%
全体	276	100.0	333	100.0
充足していると思う	81	29.3	185	55.6
どちらとも思わない	77	27.9	107	32.1
充足していないと思う	99	35.9	26	7.8
その他	2	0.7	15	4.5
無回答	17	6.2	0	0.0



○居宅介護支援事業所における担当利用者に合うシヨーステイ事業所の見つけ方について、「事業所に直接電話で聞く」が最も多く、次いで「ほかのケアマネジャーからの情報」、「事業所を直接見学」の順に多い。

【シヨーステイ事業所の見つけ方】(n=276)

選択肢	居宅介護支援事業所	
	回答数	%
全体	276	100.0
①事業所を直接見学	142	51.4
②事業所のパンフレット等	55	19.9
③事業所のホームページ	25	9.1
④事業所に直接電話で聞く	148	53.6
⑤自治体や各種団体の発行物	20	7.2
⑥ほかのケアマネジャーからの情報	147	53.3
⑦その他	11	4.0
⑧無回答	4	1.4



2 特養シヨーステイの課題点について

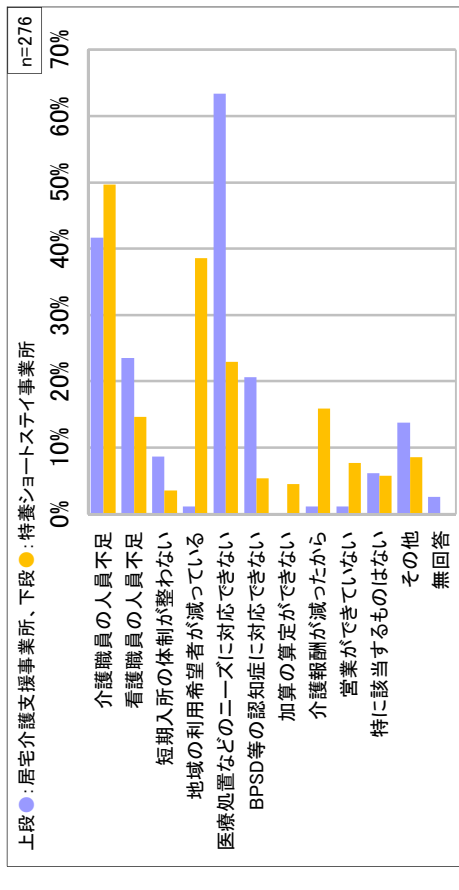
○居宅介護支援事業所から見る特養のシヨーステイ事業の課題について、「医療処置などのニーズに対応できない」が最も多く、「介護職員の人員不足」、「看護職員の人員不足」の順に多い。

○一方で、特養シヨーステイ事業所が運営上直面している課題について、「介護職員の人員不足」が最も多く、「地域の利用希望者が減っている」、「医療処置などのニーズに対応できない」の順に多い。

【特養のシヨーステイの問題点と思われること】(n=276)

※あてはまるもの2つを選択

選択肢	居宅介護支援事業所		特養シヨーステイ事業所 (参考:平成27年度調査)	
	回答数	%	回答数	%
全体	276	100.0	314	100.0
介護職員の人員不足	115	41.7	156	49.7
看護職員の人員不足	65	23.6	46	14.6
短期入所の体制が整わない	24	8.7	11	3.5
地域の利用希望者が減っている	3	1.1	121	38.5
医療処置などのニーズに対応できない	175	63.4	72	22.9
BPSD等の認知症に対応できない	57	20.7	17	5.4
加算の算定ができない	0	0.0	14	4.5
介護報酬が減ったから営業ができていない	3	1.1	50	15.9
特に該当するものはない	17	6.2	18	5.7
その他	38	13.8	27	8.6
無回答	7	2.5	0	0.0

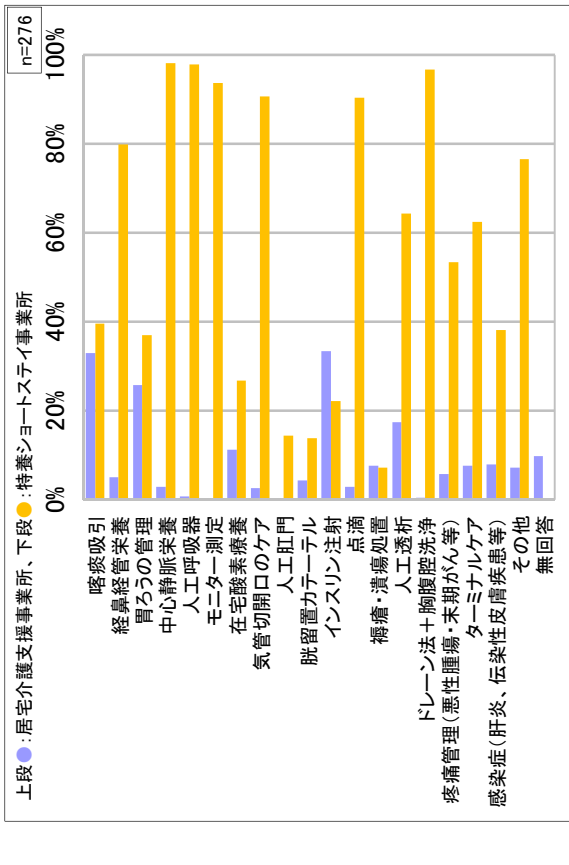


○特養のシヨーステイ利用時、医療処置の対応において居宅介護支援事業所がネックとなったものについて、「インスリン注射」が最も多く、「喀痰吸引」、「胃ろうの管理」の順に多い。

○対して受入れ可能な特養シヨーステイ事業所は、「インスリン注射」22.2%、「喀痰吸引」39.6%、「胃ろうの管理」36.9%となっている。

【特養のシヨーステイ利用時、医療処置の対応でネックとなったもの】(n=276) ※居宅介護支援事業所についてあてはまるもの2つを選択

選択肢	居宅介護支援事業所		特養シヨーステイ事業所 (参考:平成27年度調査)	
	回答数	%	回答数	%
全体	276	100.0	333	100.0
喀痰吸引	91	33.0	132	39.6
経鼻経管栄養	14	5.1	266	79.9
胃ろうの管理	71	25.7	123	36.9
中心静脈栄養	8	2.9	327	98.2
人工呼吸器	2	0.7	326	97.9
モニター測定	0	0.0	312	93.7
在宅酸素療養	31	11.2	89	26.7
気管切開口のケア	7	2.5	302	90.7
人工肛門	0	0.0	48	14.4
膀胱置カテーテル	12	4.3	46	13.8
インスリン注射	92	33.3	74	22.2
点滴	8	2.9	301	90.4
褥瘡・潰瘍処置	21	7.6	24	7.2
人工透析	48	17.4	214	64.3
ドレーン法+胸腹腔洗浄	1	0.4	322	96.7
疼痛管理(悪性腫瘍・末期がん等)	16	5.8	178	53.5
ターミナルケア	21	7.6	208	62.5
感染症(肝炎、伝染性皮肤病疾患等)	22	8.0	127	38.1
その他	20	7.2	255	76.6
無回答	27	9.8	0	0.0



■東京都高齢者福祉施設協議会について
 東京都社会福祉協議会(東社協)東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム、東京都社会福祉協議会(東社協)東京都高齢者福祉施設協議会、在宅介護支援センター、デイサービスセンター、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、を会員とする組織です。会員が相互に研さんを重ねながらサービスの質を高め、利用者主体による高齢者福祉の発展を目的として、施設で働く職員を対象とした研修会や実践研究発表会(アクティブ福祉 in 東京)、調査研究活動、制度の拡充を目指した提言活動(ソーシャルアクション)などを行っています。

ケアマネジャーによる特養シヨーステイに対する意識調査結果（概要）

平成29年3月 / 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会 シヨーステイのあり方検討委員会

- 高齢者のシヨーステイ事業の課題整理・現状把握を目的に、都内居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に実施した調査の結果。
- 担当エリア内のシヨーステイ事業所の充足状況について、「充足していないと思う」居宅介護支援事業所は35.6%。
- 居宅介護支援事業所が特養のシヨーステイ利用につなぐ上でネックとなった医療処置は、「インスリン注射」22.2%、「喀痰吸引」39.6%、「胃ろうの管理」36.9%。
- シヨーステイ事業所の充足状況や、医療処置が必要な利用者へ対応状況からサービス利用につなぐ居宅介護支援事業所と、サービスを提供する特養シヨーステイ事業所の間における課題意識の違いが浮き彫りになった。
- 参考値として、平成27年度実施「シヨーステイの現状把握調査」(実施：東京都高齢者福祉施設協議会、対象：都内特養のシヨーステイ実施事業所)で類似の回答結果を掲載。

【調査対象】 都内居宅介護支援事業に関する団体の会員事業所(545施設)
【調査期間】 平成28年9月5日～9月26日
【回答の状況】 回答率50.6%(276事業所)

関係団体	対象数	回答数	%
東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会	249	141	56.6
居宅介護支援事業委員会			
八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員	96	62	64.6
東京都介護支援専門員研究協議会会員 研修参加者	200	73	36.5

3 特養シヨーステイに関する居宅介護支援事業所ケアマネジャーからの意見や要望（自由記述より一部抜粋）

予約の取り辛さ

- 当区では現在も利用2ヶ月前の1日(土・日・祭)にあたると翌平日)の9:00～、Telでの予約開始となり、利用家族の就労や独居利用者等の予約はケアマネジャーが行っています。なかなか繋がりません。これだけIT化が進んでいる時代にもう少し柔軟でスムーズな予約方法が有ると思うのですが声が上げて改善されず、ケアマネは有休を取る事も出来ず、朝一の訪問もあきらめ電話前にはりついています。
- 古くからある特養は、昔からのやり方を変えない。半年前からの予約、Telでの申し込み(早い者順)。シヨーステイ専門の所は、融通がもつときいている。

利用者・家族のニーズ対応

- 特養利用者がケアの中心となる併設のSSには軽介護の方はなかなかご案内できない。初回の利用となるときは、特にその後の継続利用を意識すると、シヨーステイ専門の施設の方が見守り、日中の過ごし方ともに充実している傾向にあるため利用者本位で考えると、どうしてもそちらの調整を優先してしまいます。特養の相談員だけではなく、ケアワーカー側も受け入れに積極的になっていただくための取り組みを希望します。
- 現在「特養」のシヨーステイは従来型とユニット型があり、利用者(家族含)は利用料金の負担が少ない従来型を選ぶ方が多い。ユニット型のメリットも十分説明しているが、居室料の低い方を選択しているのが実情である。また初回利用の様子で(特に認知症の方)断ってくる施設もあり家族は落胆する事も多い。もっと寄り添った支援をしていただきたいと思う。

施設からの情報提供不足

- 入所希望の特養のシヨーステイを利用していると、入所の時の抵抗が少ないことは確かにあります。毎月利用している定期利用者は、状態把握もすっかりしていただいて助かっております。昼夜の状況がわかるのがシヨーステイなので利用時の情報をいただけるのも助かっております。
- シヨーステイ利用中の状況報告が、ケアマネジャーにない。退所当日に転倒し、そのまま帰宅した利用者は、翌日から打撲斑がかなり広がり、デイサービス職員から報告を受け、恥ずかしい思いをした。後日、シヨーステイ先へ訪問し、報告したが、通院の状況をさき、あっさりした態度で聞き流された。

医療依存度の高いご利用者の受入希望

- 医療依存度の高い方や、BPSDのある認知症の方たちは、介護している家族の負担はとも大きい。その負担の大きい方たちが利用できるシヨーステイは無いに等しい状況です。施設は、トライしようとする姿勢がないのも問題では。
- お泊まりデイに比べたら、柔軟性も予約も満足度、連携全においてできていません。お泊まりより安いから利用しているだけです。緊急にも医療依存度にも対応できず、個室料をとる特養に未来はありません。

周辺症状のある重度認知症高齢者への積極受入

- 認知症で徘徊などの周辺症状があると、夜間の職員体制が少人数のため、対応が困難であると断れるシヨーステイ事業所が多い。日中はデイサービス等で対応できるが、主介護者がどうしても不在になった時の受け入れ(夜間)できる特養を増してもらいたい。

リハビリ機能の充実

- シヨーステイに関しては、家族の都合や希望によって利用する場合が多く、利用者の意向がおざなりになってしまいう場合が多い。その中で利用者も目的をもって活動に参加できるプログラムを検討してもらいたい。又、利用後、活動量が落ちた、依存的になったとの声が多く、次回の利用を躊躇させる方が多いのでその辺りが課題と思われる。

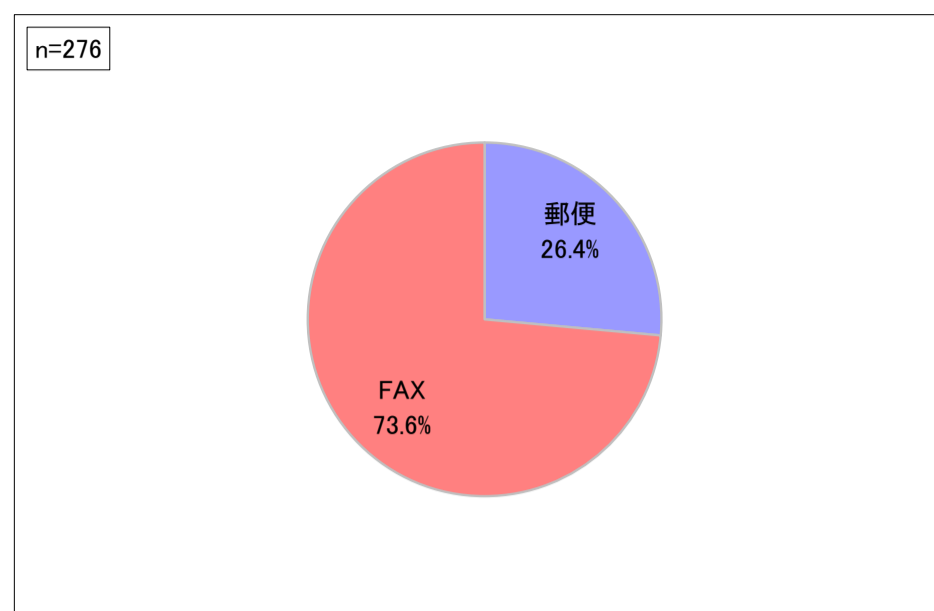
余暇活動の充実

- 特養では余暇活動がほとんどなく、1日中ボーっとして過ごさねばならない所がほとんどで、長くシヨーステイを利用すると、活動性が低下してしまうのではないかと、心配です。シヨーステイでも、レクリエーションや機能訓練をお願いできれば安心しておすすめできるのですが…。

特養のショートステイへの意識調査

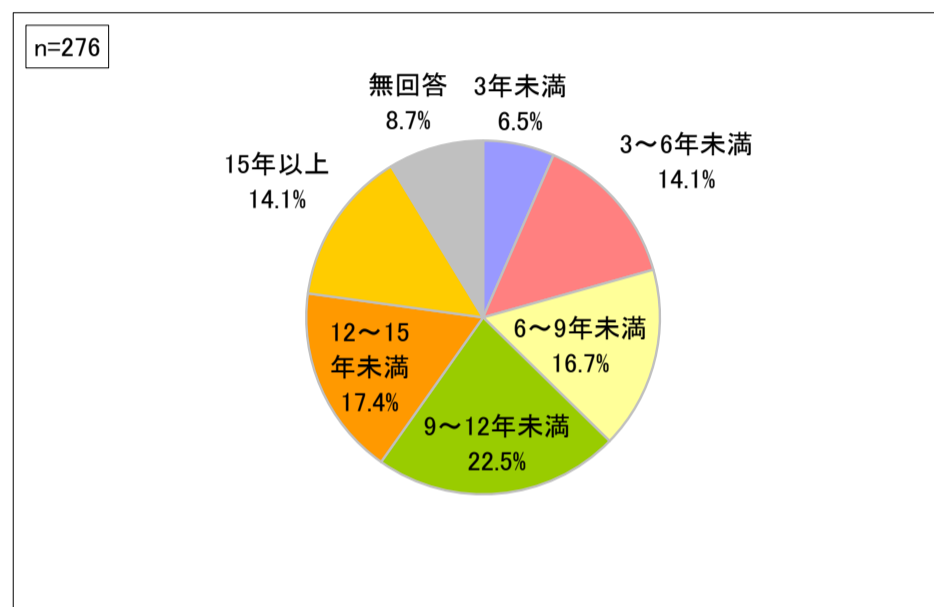
S1:回収種別 (SA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 郵便	73	26.4
2 FAX	203	73.6



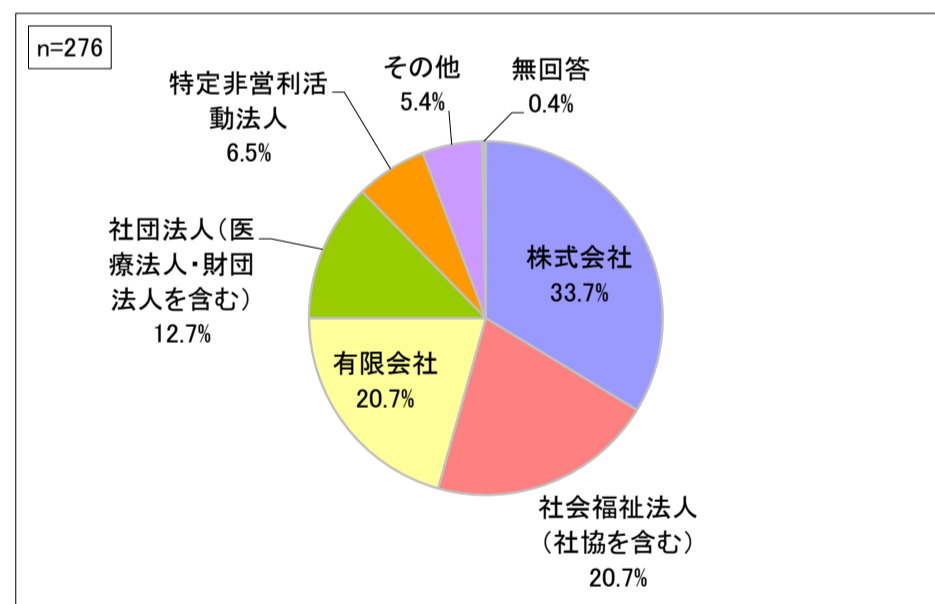
F4:ケアマネジャーの経験年数[_年] (N)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 3年未満	18	6.5
2 3~6年未満	39	14.1
3 6~9年未満	46	16.7
4 9~12年未満	62	22.5
5 12~15年未満	48	17.4
6 15年以上	39	14.1
無回答	24	8.7
平均値		9.35
標準偏差		4.29
最小値		0.50
最大値		18.00



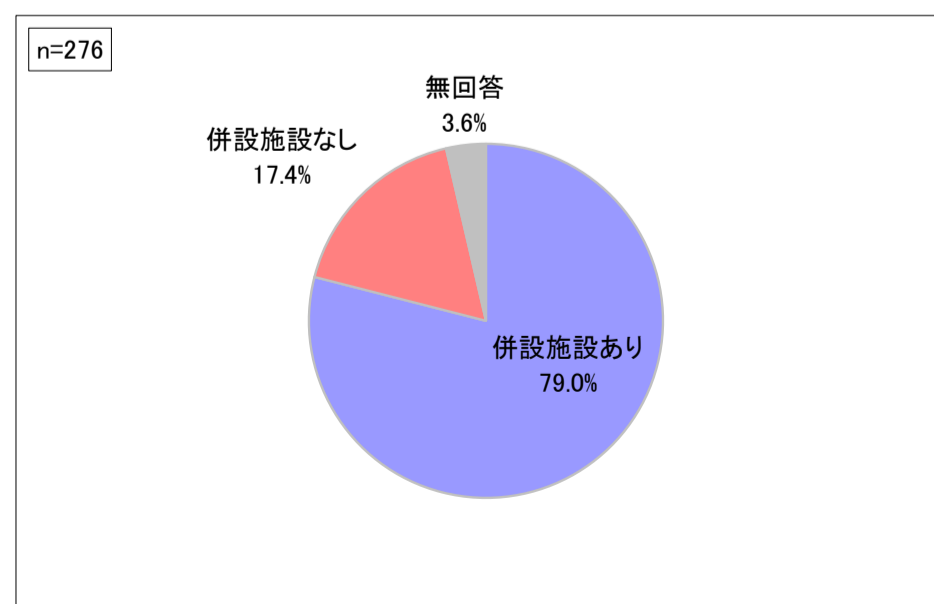
問1: 貴事業所の運営主体についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。(SA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 株式会社	93	33.7
2 社会福祉法人(社協を含む)	57	20.7
3 有限会社	57	20.7
4 社団法人(医療法人・財団法人を含む)	35	12.7
5 特定非営利活動法人	18	6.5
6 その他	15	5.4
無回答	1	0.4



問2-1: 貴事業所の併設施設(注1)についてお尋ねします。併設施設の状況をご回答ください。(SA)

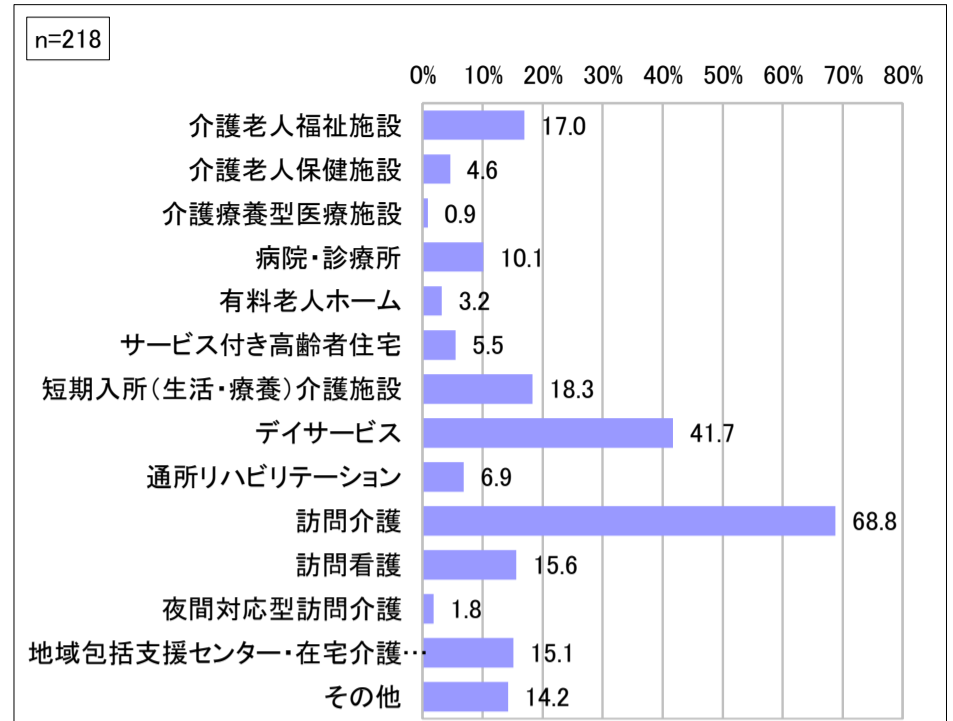
	回答数	%
全体	276	100.0
1 併設施設あり	218	79.0
2 併設施設なし	48	17.4
無回答	10	3.6



特養のショートステイへの意識調査

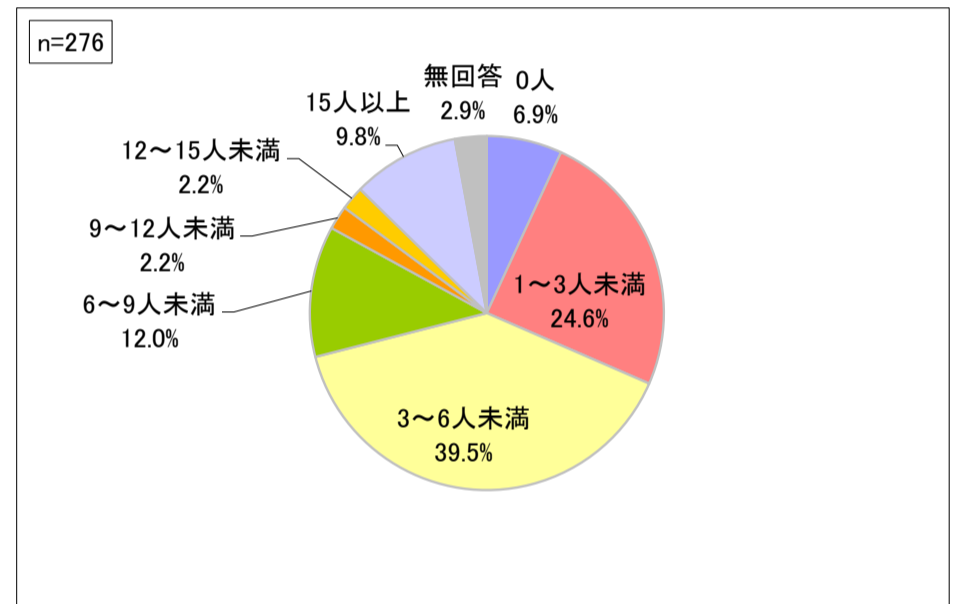
問2-2:【問2-1で「1.併設施設あり」と回答の方】併設施設の実施するサービスについて、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	218	100.0
1 介護老人福祉施設	37	17.0
2 介護老人保健施設	10	4.6
3 介護療養型医療施設	2	0.9
4 病院・診療所	22	10.1
5 有料老人ホーム	7	3.2
6 サービス付き高齢者住宅	12	5.5
7 短期入所(生活・療養)介護施設	40	18.3
8 デイサービス	91	41.7
9 通所リハビリテーション	15	6.9
10 訪問介護	150	68.8
11 訪問看護	34	15.6
12 夜間対応型訪問介護	4	1.8
13 地域包括支援センター・在宅介護支援センター	33	15.1
14 その他	31	14.2



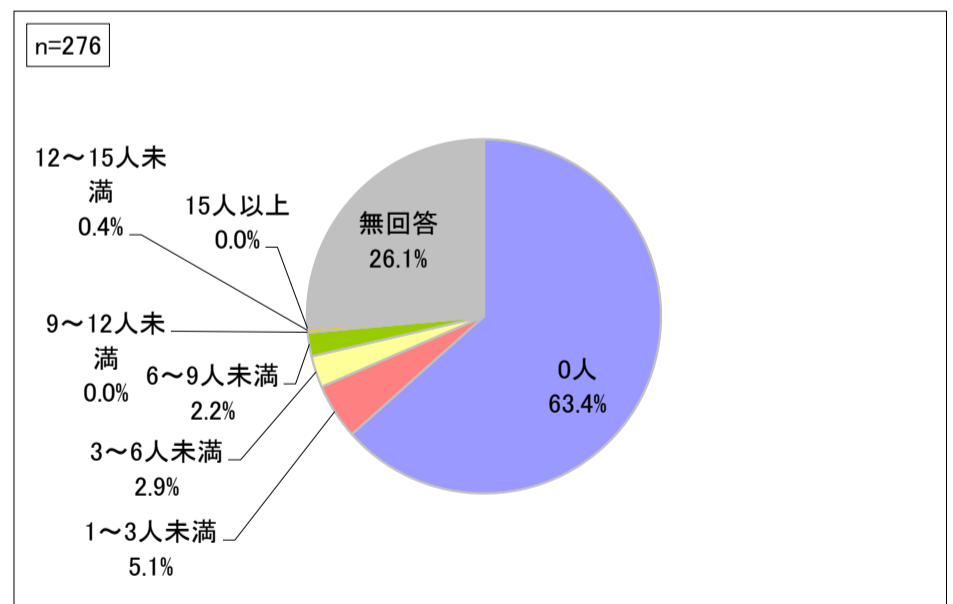
問3.1:あなたが平成28年8月にケアプラン作成を行ったご利用者(請求ベース)のうち、ショートステイをご利用した方は何人ですか?/[_人] (N)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 0人	19	6.9
2 1~3人未満	68	24.6
3 3~6人未満	109	39.5
4 6~9人未満	33	12.0
5 9~12人未満	6	2.2
6 12~15人未満	6	2.2
7 15人以上	27	9.8
無回答	8	2.9
平均値		6.43
標準偏差		9.14
最小値		0.00
最大値		49.00



問3.2:あなたが平成28年8月にケアプラン作成を行ったご利用者(請求ベース)のうち、ショートステイをご利用した方は何人ですか?/うち予防[_人] (N)

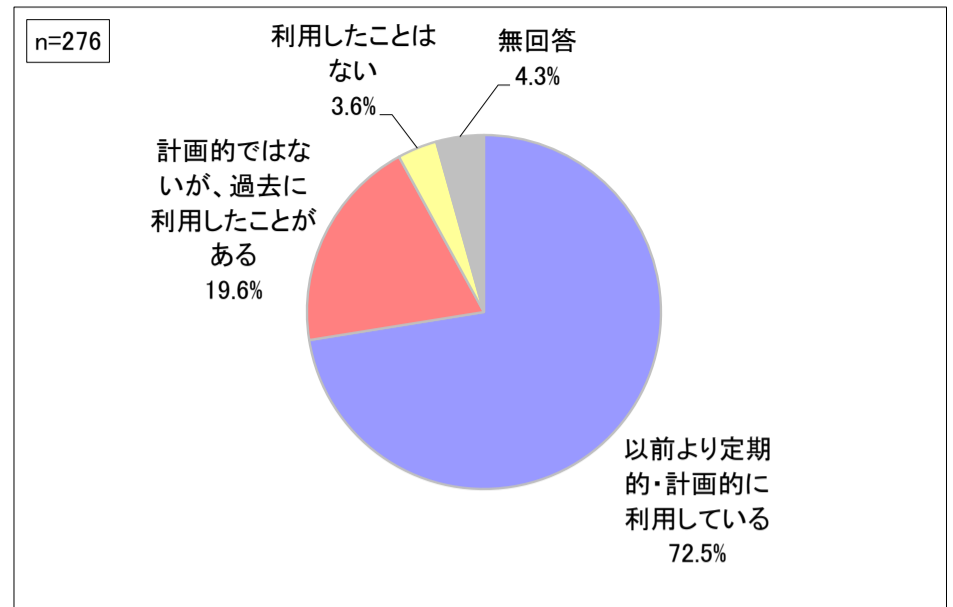
	回答数	%
全体	276	100.0
1 0人	175	63.4
2 1~3人未満	14	5.1
3 3~6人未満	8	2.9
4 6~9人未満	6	2.2
5 9~12人未満	0	0.0
6 12~15人未満	1	0.4
7 15人以上	0	0.0
無回答	72	26.1
平均値		0.50
標準偏差		1.67
最小値		0.00
最大値		13.00



特養のショートステイへの意識調査

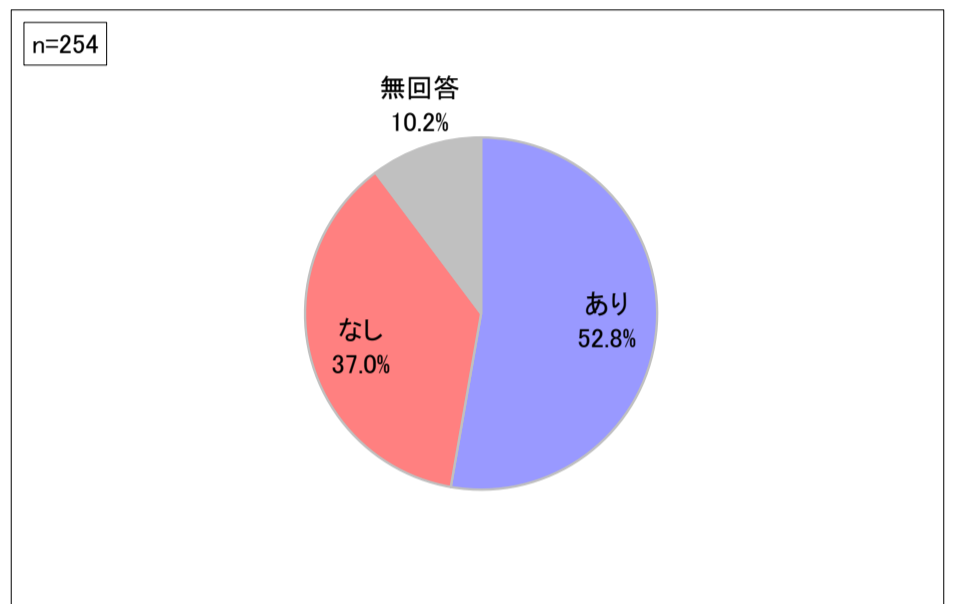
問4-1: あなたはこれまでに『特養』のショートステイを利用したことがありますか(あてはまるところに1つ〇をしてください) (SA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 以前より定期的・計画的に利用している	200	72.5
2 計画的ではないが、過去に利用したことがある	54	19.6
3 利用したことはない	10	3.6
無回答	12	4.3



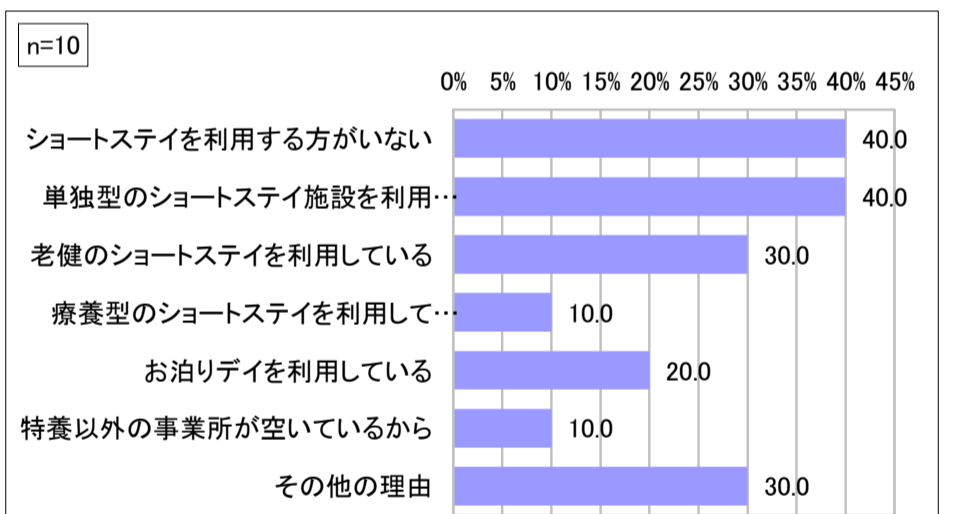
問4-2: 【問4-1で「1.以前より定期的・計画的に利用している」、「2.計画的ではないが、過去に利用したことがある」と回答の方】上記の利用者のうち、緊急利用のケースはありましたか？(どちらかに〇して下さい) (SA)

	回答数	%
全体	254	100.0
1 あり	134	52.8
2 なし	94	37.0
無回答	26	10.2



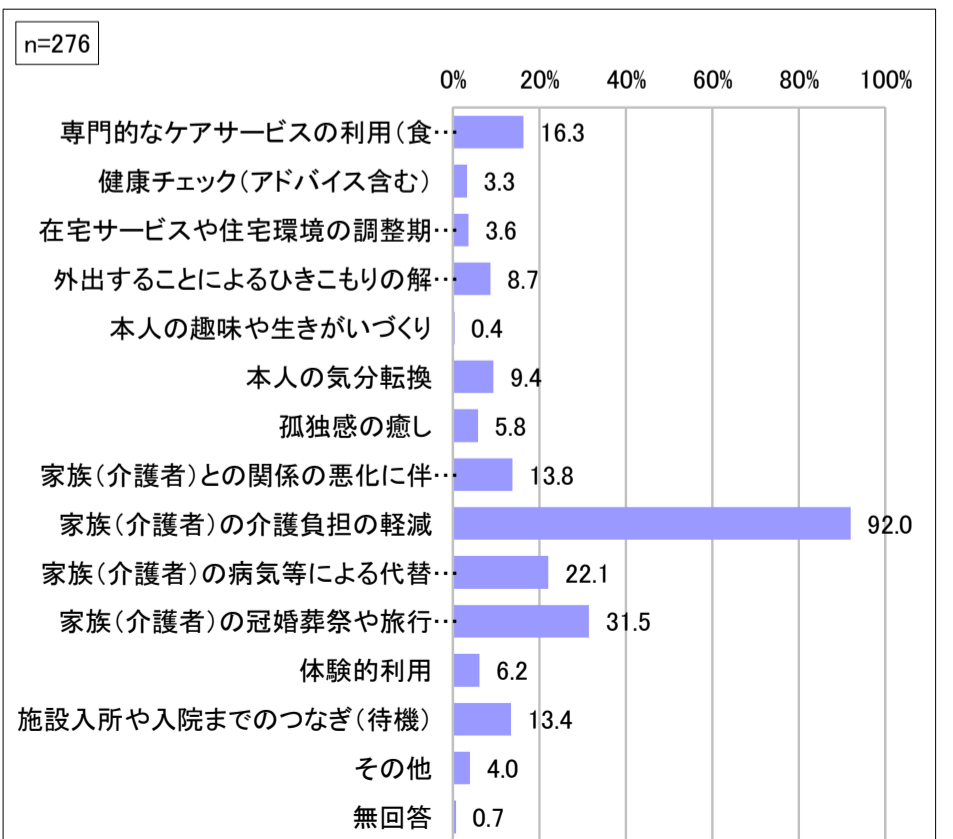
問4-3: 【問4-1で「3.利用したことはない」と回答の方】利用していない理由についてお聞かせください。(あてはまるものすべてに〇して下さい) (MA)

	回答数	%
全体	10	100.0
1 ショートステイを利用する方がいない	4	40.0
2 単独型のショートステイ施設を利用している	4	40.0
3 老健のショートステイを利用している	3	30.0
4 療養型のショートステイを利用している	1	10.0
5 お泊りデイを利用している	2	20.0
6 特養以外の事業所が空いているから	1	10.0
7 その他の理由	3	30.0



問5: 緊急利用を除く利用の目的はなんですか。特にあてはまるもの2つ〇をつけて下さい (MA)

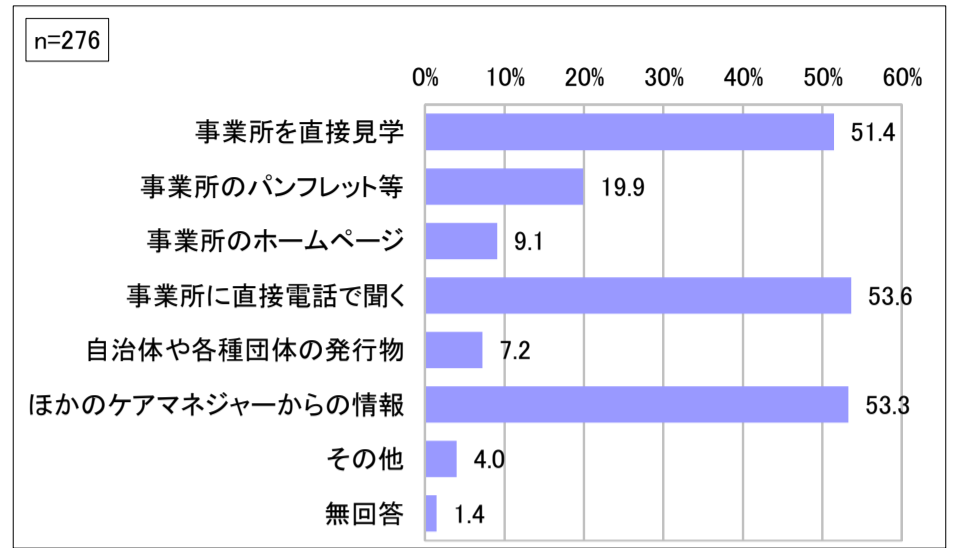
	回答数	%
全体	276	100.0
1 専門的なケアサービスの利用(食事・入浴等)	45	16.3
2 健康チェック(アドバイス含む)	9	3.3
3 在宅サービスや住宅環境の調整期間中の居所確保	10	3.6
4 外出することによるひきこもりの解消、社会参加のきっかけ	24	8.7
5 本人の趣味や生きがいづくり	1	0.4
6 本人の気分転換	26	9.4
7 孤独感の癒し	16	5.8
8 家族(介護者)との関係の悪化に伴う引き離し	38	13.8
9 家族(介護者)の介護負担の軽減	254	92.0
10 家族(介護者)の病気等による代替ケア	61	22.1
11 家族(介護者)の冠婚葬祭や旅行等での不在に伴う代替ケア	87	31.5
12 体験的利用	17	6.2
13 施設入所や入院までのつなぎ(待機)	37	13.4
14 その他	11	4.0
無回答	2	0.7



特養のショートステイへの意識調査

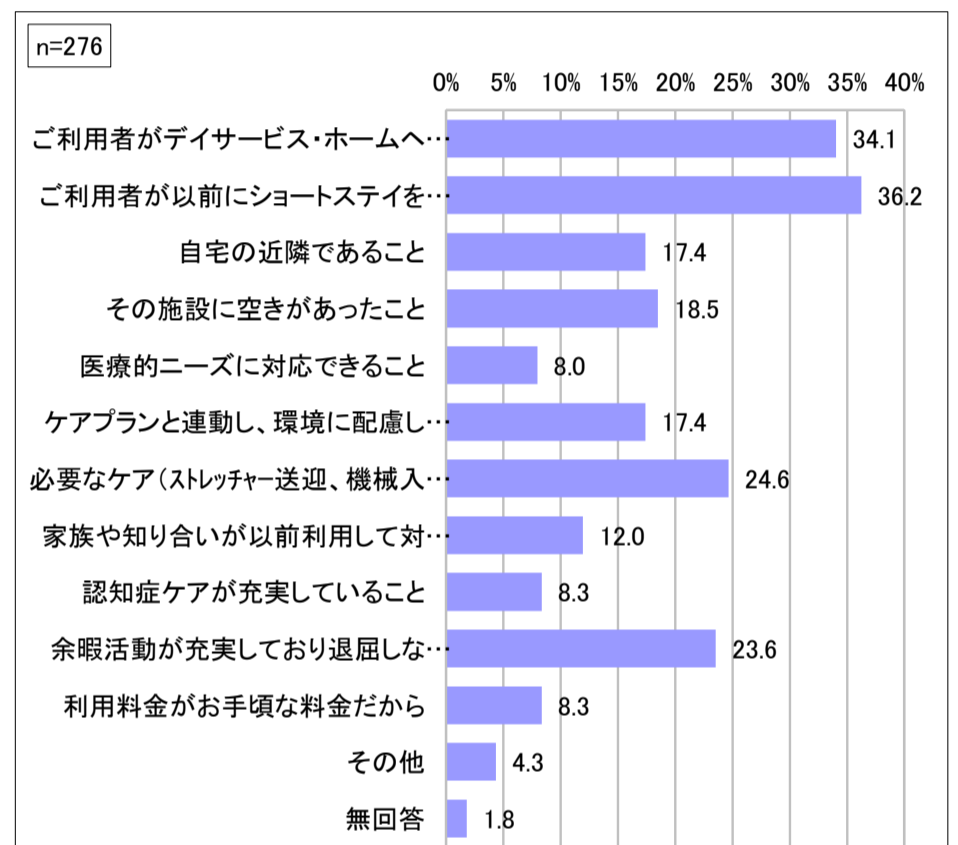
問6: あなたがご自分の担当利用者に合うショートステイ事業所を探す際、どのようにして見つけますか? 特にあてはまるもの2つ〇をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 事業所を直接見学	142	51.4
2 事業所のパンフレット等	55	19.9
3 事業所のホームページ	25	9.1
4 事業所に直接電話で聞く	148	53.6
5 自治体や各種団体の発行物	20	7.2
6 ほかのケアマネジャーからの情報	147	53.3
7 その他	11	4.0
無回答	4	1.4



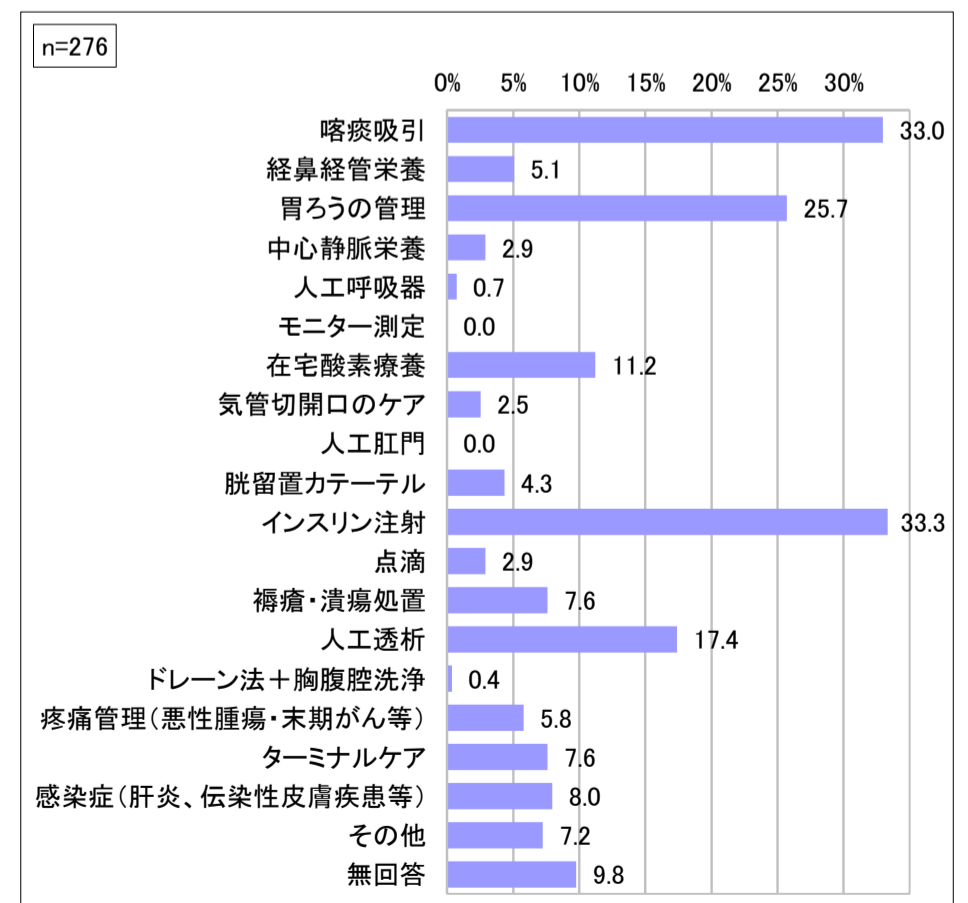
問7: あなたの担当の利用者(ご家族含め)が施設を選ぶ際に、最も勘案する要素は何だと思いますか? 特にあてはまるもの2つ〇をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 ご利用者がデイサービス・ホームヘルプ等でも利用している施設	94	34.1
2 ご利用者が以前にショートステイを利用したことのある施設	100	36.2
3 自宅の近隣であること	48	17.4
4 その施設に空きがあったこと	51	18.5
5 医療的ニーズに対応できること	22	8.0
6 ケアプランと連動し、環境に配慮してADL維持に力を入れていること	48	17.4
7 必要なケア(ストレッチャー送迎、機械入浴、治療食等)が受けられること	68	24.6
8 家族や知り合いが以前利用して対応が良かったこと	33	12.0
9 認知症ケアが充実していること	23	8.3
10 余暇活動が充実しており退屈しないで過ごせるように配慮していること	65	23.6
11 利用料金がお手頃な料金だから	23	8.3
12 その他	12	4.3
無回答	5	1.8



問8: あなたが今までに『特養』のショートステイ事業所を利用する際に、医療処置の対応でネックとなったものはどれでしょうか。特にあてはまるもの2つ〇をつけて下さい。(MA)

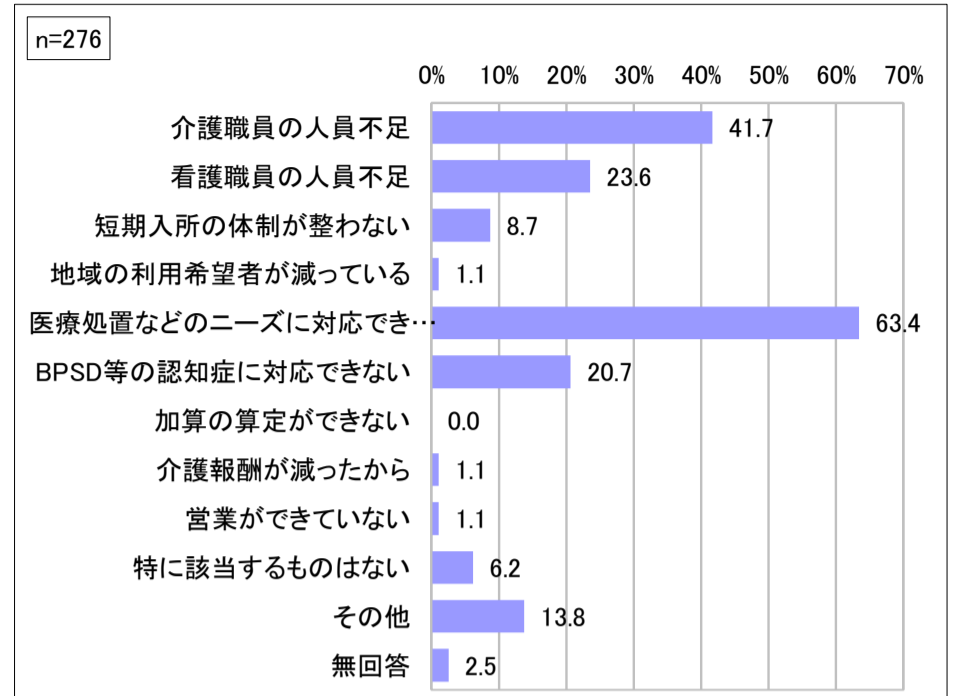
	回答数	%
全体	276	100.0
1 喀痰吸引	91	33.0
2 経鼻経管栄養	14	5.1
3 胃ろうの管理	71	25.7
4 中心静脈栄養	8	2.9
5 人工呼吸器	2	0.7
6 モニター測定	0	0.0
7 在宅酸素療養	31	11.2
8 気管切開口のケア	7	2.5
9 人工肛門	0	0.0
10 膀胱留置カテーテル	12	4.3
11 インスリン注射	92	33.3
12 点滴	8	2.9
13 褥瘡・潰瘍処置	21	7.6
14 人工透析	48	17.4
15 ドレーン法+胸腹腔洗浄	1	0.4
16 疼痛管理(悪性腫瘍・末期がん等)	16	5.8
17 ターミナルケア	21	7.6
18 感染症(肝炎、伝染性皮膚疾患等)	22	8.0
19 その他	20	7.2
無回答	27	9.8



特養のショートステイへの意識調査

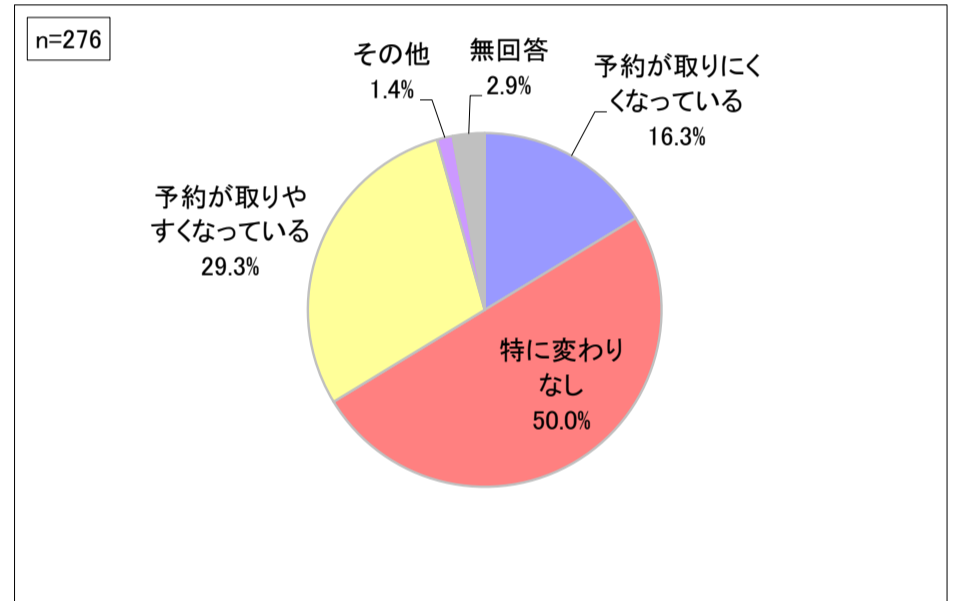
問9: あなたからみて、『特養』ショートステイ事業の問題点と思われる事について特にあてはまるもの2つ○をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 介護職員の人員不足	115	41.7
2 看護職員の人員不足	65	23.6
3 短期入所の体制が整わない	24	8.7
4 地域の利用希望者が減っている	3	1.1
5 医療処置などのニーズに対応できない	175	63.4
6 BPSD等の認知症に対応できない	57	20.7
7 加算の算定ができない	0	0.0
8 介護報酬が減ったから	3	1.1
9 営業ができていない	3	1.1
10 特に該当するものはない	17	6.2
11 その他	38	13.8
無回答	7	2.5



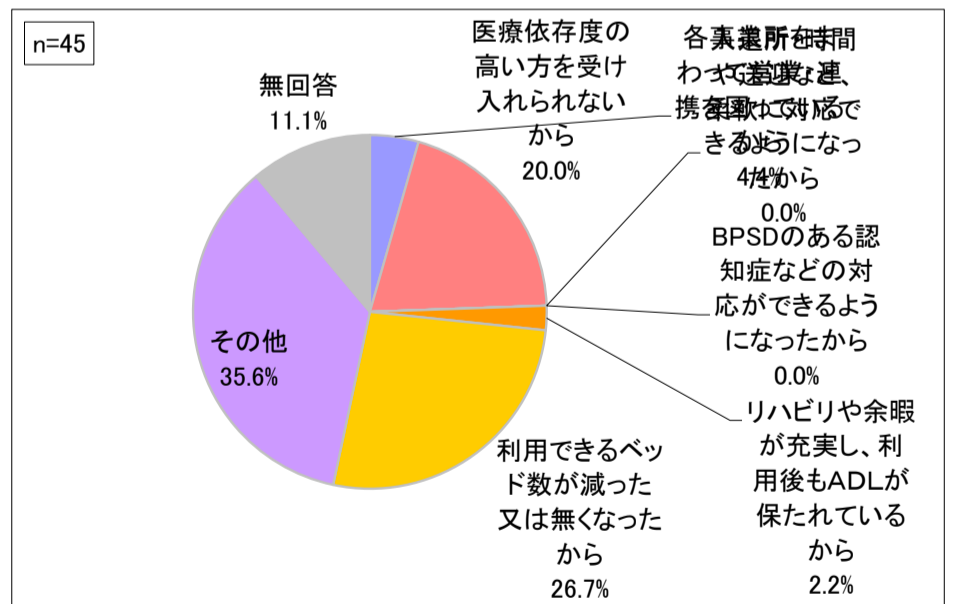
問10-1: あなたからみて、ショートステイの予約・受付等について最もあてはまるもの1つに○をつけて下さい。(平成27年4月以降の傾向として) (SA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 予約が取りにくくなっている	45	16.3
2 特に変わりなし	138	50.0
3 予約が取りやすくなっている	81	29.3
4 その他	4	1.4
無回答	8	2.9



問10-2: 【問10-1で「1.予約が取りにくくなっている」と回答の方】予約が取りにくくなったのはなぜだと思いますか？最もあてはまるもの1つに○をつけて下さい。(SA)

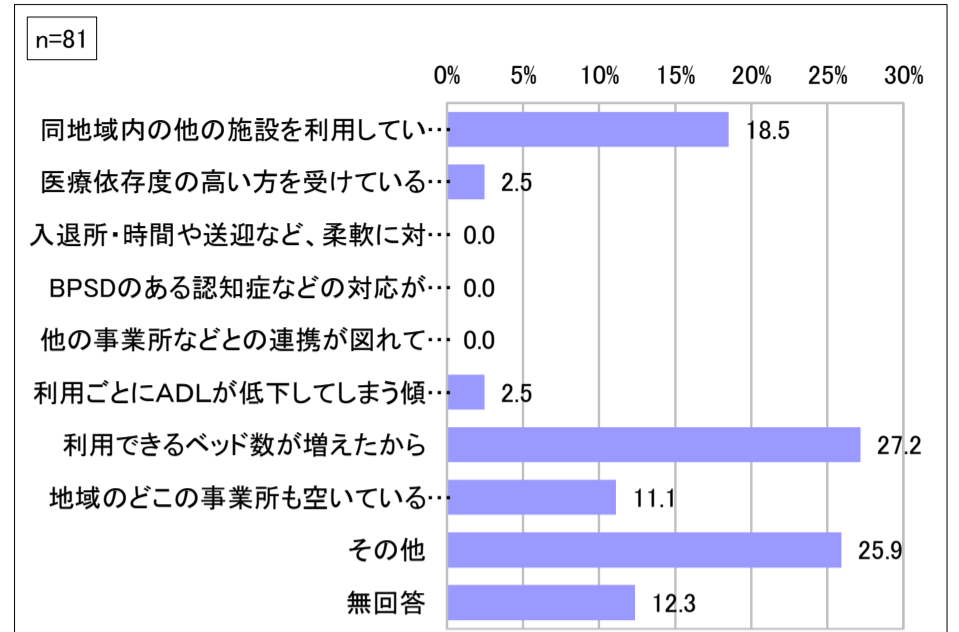
	回答数	%
全体	45	100.0
1 各事業所をまわって営業・連携を図っているから	2	4.4
2 医療依存度の高い方を受け入れられないから	9	20.0
3 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できるようになったから	0	0.0
4 BPSDのある認知症などの対応ができるようになったから	0	0.0
5 リハビリや余暇が充実し、利用後もADLが保たれているから	1	2.2
6 利用できるベッド数が減った又は無くなったから	12	26.7
7 その他	16	35.6
無回答	5	11.1



特養のショートステイへの意識調査

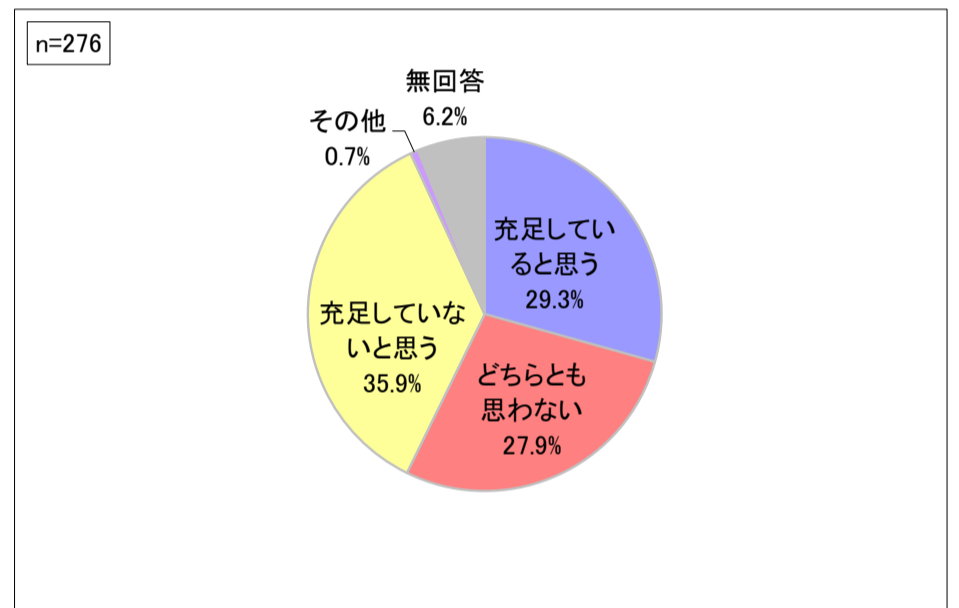
問10-3:【問10-1で「3.予約が取りやすくなっている」と回答の方】予約が取りやすくなったのはなぜだと考えますか？最もあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	回答数	%
全体	81	100.0
1 同地域内の他の施設を利用しているため	15	18.5
2 医療依存度の高い方を受けているから	2	2.5
3 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できなくなったから	0	0.0
4 BPSDのある認知症などの対応ができないから	0	0.0
5 他の事業所などとの連携が図れてないから	0	0.0
6 利用ごとにADLが低下してしまう傾向があるから	2	2.5
7 利用できるベッド数が増えたから	22	27.2
8 地域のどこの事業所も空いている状況だから	9	11.1
9 その他	21	25.9
無回答	10	12.3



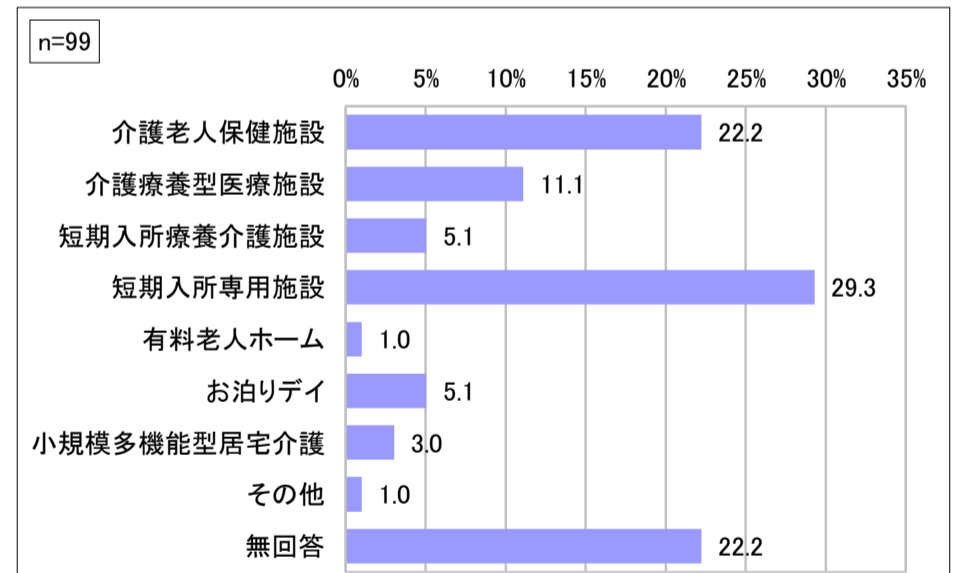
問11-1:あなたのエリアのショートステイ事業所の数は充足していると思えますか？(あてはまるもの1つに○) (SA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 充足していると思う	81	29.3
2 どちらとも思わない	77	27.9
3 充足していないと思う	99	35.9
4 その他	2	0.7
無回答	17	6.2



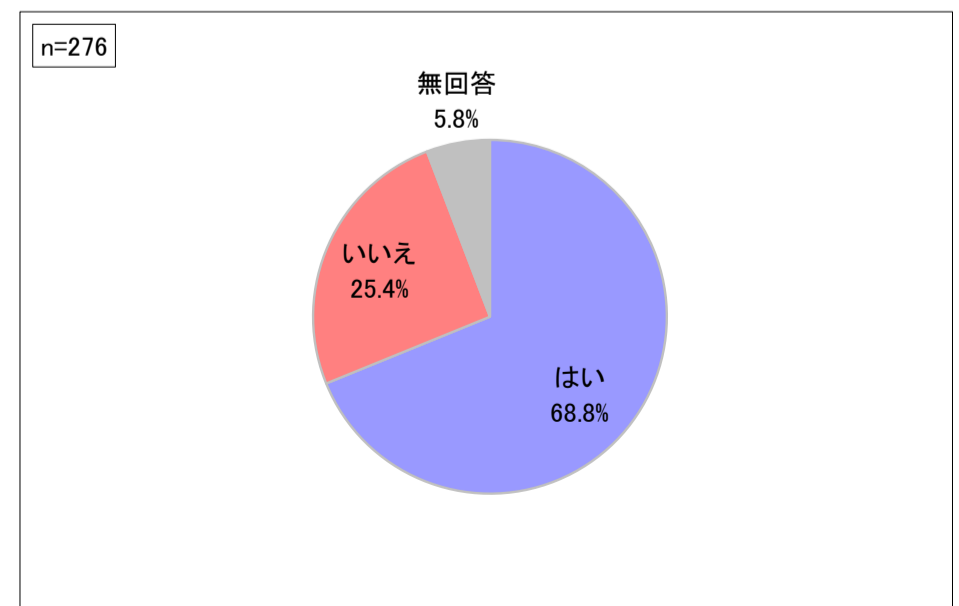
問11-2:【問11-1で「3.充足していないと思う」と回答の方】あなたのエリアに、必要なショートステイ事業所のタイプは？(あてはまるもの1つに○) (SA)

	回答数	%
全体	99	100.0
1 介護老人保健施設	22	22.2
2 介護療養型医療施設	11	11.1
3 短期入所療養介護施設	5	5.1
4 短期入所専用施設	29	29.3
5 有料老人ホーム	1	1.0
6 お泊りデイ	5	5.1
7 小規模多機能型居宅介護	3	3.0
8 その他	1	1.0
無回答	22	22.2



問12:ショートステイ事業者から、ショートステイ利用後に担当利用者の状況や様子などを把握しやすかったですか？(あてはまる方に○) (SA)

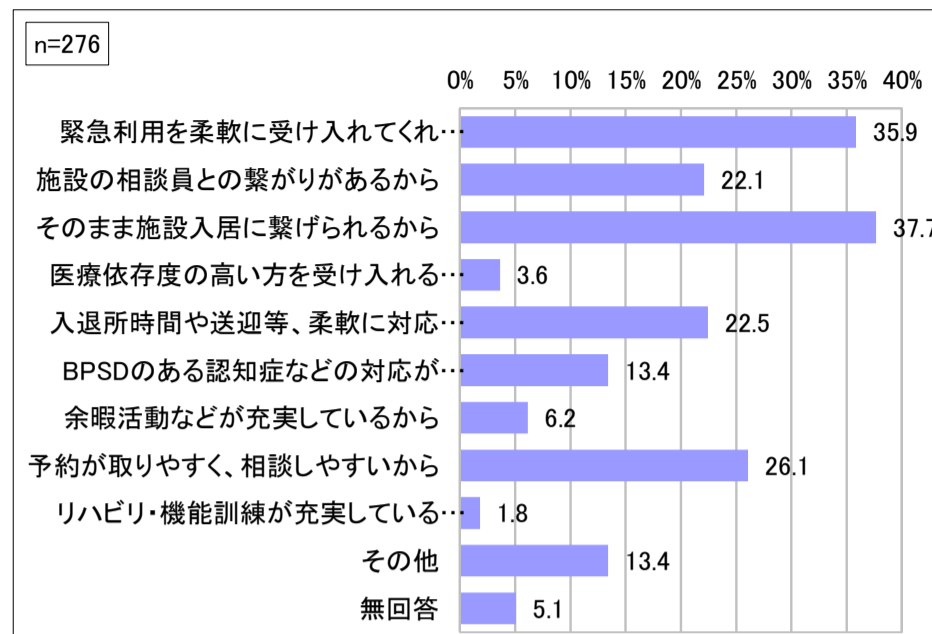
	回答数	%
全体	276	100.0
1 はい	190	68.8
2 いいえ	70	25.4
無回答	16	5.8



特養のショートステイへの意識調査

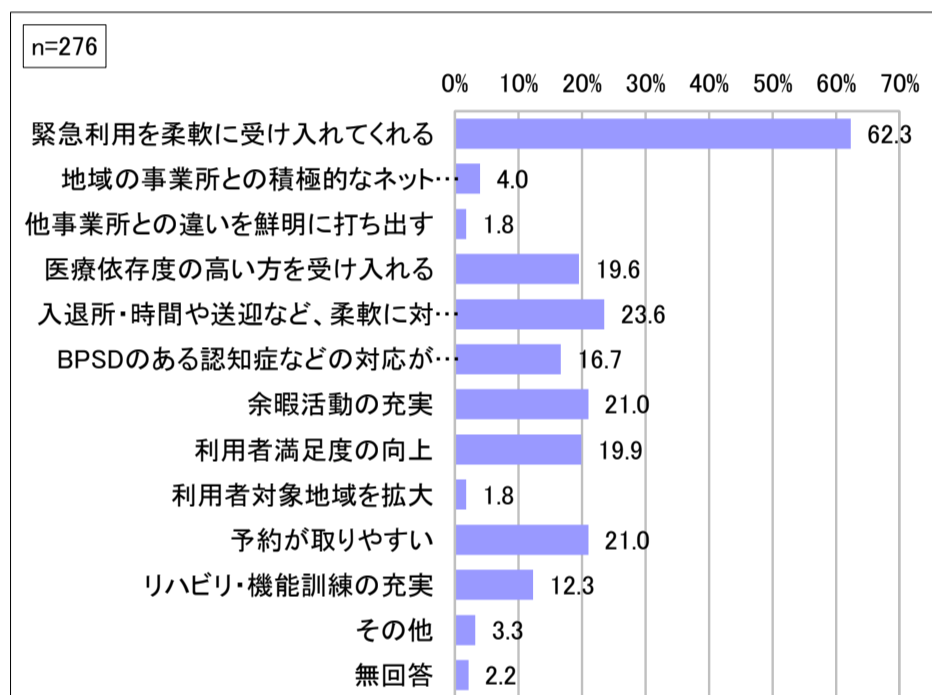
問13: あなたからみて、担当利用者(ご家族含め)が『特養』のショートステイを利用する又は利用したいと思うのは、なぜだと考えますか。特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 緊急利用を柔軟に受け入れてくれるから	99	35.9
2 施設の相談員との繋がりがあるから	61	22.1
3 そのまま施設入居に繋がられるから	104	37.7
4 医療依存度の高い方を受け入れるから	10	3.6
5 入退所時間や送迎等、柔軟に対応できる	62	22.5
6 BPSDのある認知症などの対応ができる	37	13.4
7 余暇活動などが充実しているから	17	6.2
8 予約が取りやすく、相談しやすいから	72	26.1
9 リハビリ・機能訓練が充実しているから	5	1.8
10 その他	37	13.4
無回答	14	5.1



問14: ご利用者およびご家族が、『特養』のショートステイ事業者に求めているのは何だと考えますか。特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。(MA)

	回答数	%
全体	276	100.0
1 緊急利用を柔軟に受け入れてくれる	172	62.3
2 地域の事業所との積極的なネットワーク作り	11	4.0
3 他事業所との違いを鮮明に打ち出す	5	1.8
4 医療依存度の高い方を受け入れる	54	19.6
5 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できる	65	23.6
6 BPSDのある認知症などの対応ができる	46	16.7
7 余暇活動の充実	58	21.0
8 利用者満足度の向上	55	19.9
9 利用者対象地域を拡大	5	1.8
10 予約が取りやすい	58	21.0
11 リハビリ・機能訓練の充実	34	12.3
12 その他	9	3.3
無回答	6	2.2



特養のショートステイへの意識調査

問3.あなたが平成28年8月にケアプラン作成を行ったご利用者(請求ベース)のうち、ショートステイをご利用した方は何人ですか？ (数値マトリクス)



問	[]人	回答数	%	利用状況							平均値	標準偏差	最小値	最大値	
				0人	1~3人未満	3~6人未満	6~9人未満	9~12人未満	12~15人未満	15人以上					7
問3.1	[]人	276	100.0	19	68	109	33	6	6	27	8	6.43	9.14	0.00	49.00
問3.2	うち予防[]人	276	100.0	175	14	8	6	0	1	0	72	0.50	1.67	0.00	13.00
		63.4		5.1	2.9	2.2	2.2	0.0	0.4	0.0	26.1				

■特養のショートステイへの意識調査 区市町村ブロック別データ(調査結果)

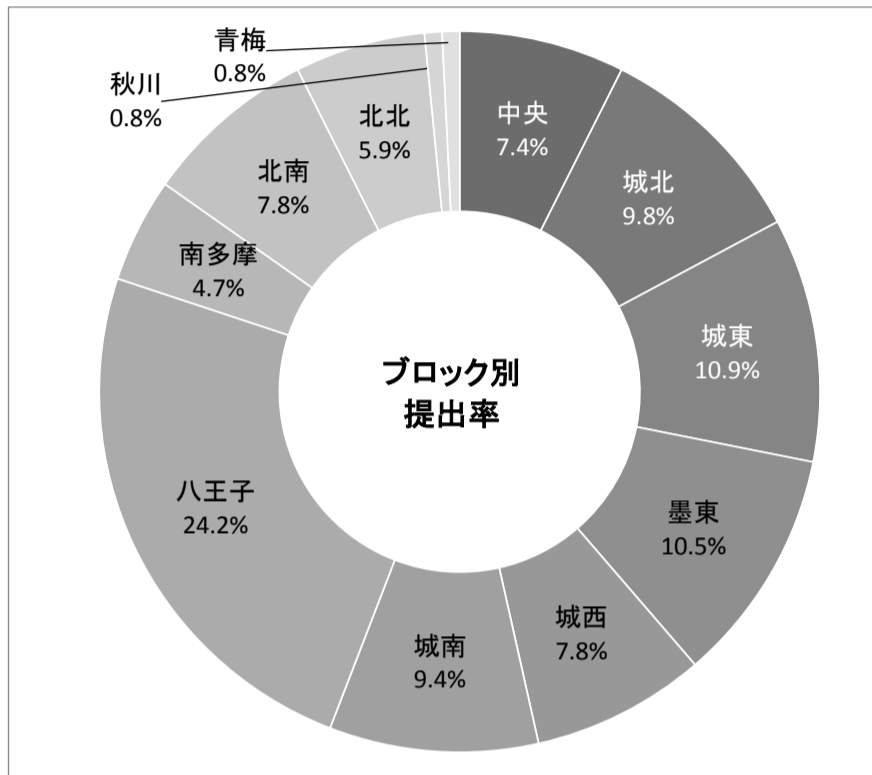
調査概要

- ・調査対象:
 東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会 居宅介護支援事業実施会員 249件
 八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員 96件
 東京都介護支援専門員研究協議会 会員 研修参加者 200件
- ・調査期間:平成28年9月5日(月)～平成28年9月26日(月)
- ・回収数:
 東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会 居宅介護支援事業実施会員 141件(約56.6%)
 八王子介護支援専門員連絡協議会 事業所会員 62件(約64.6%)
 東京都介護支援専門員研究協議会 会員 研修参加者 73件(約36.5%)

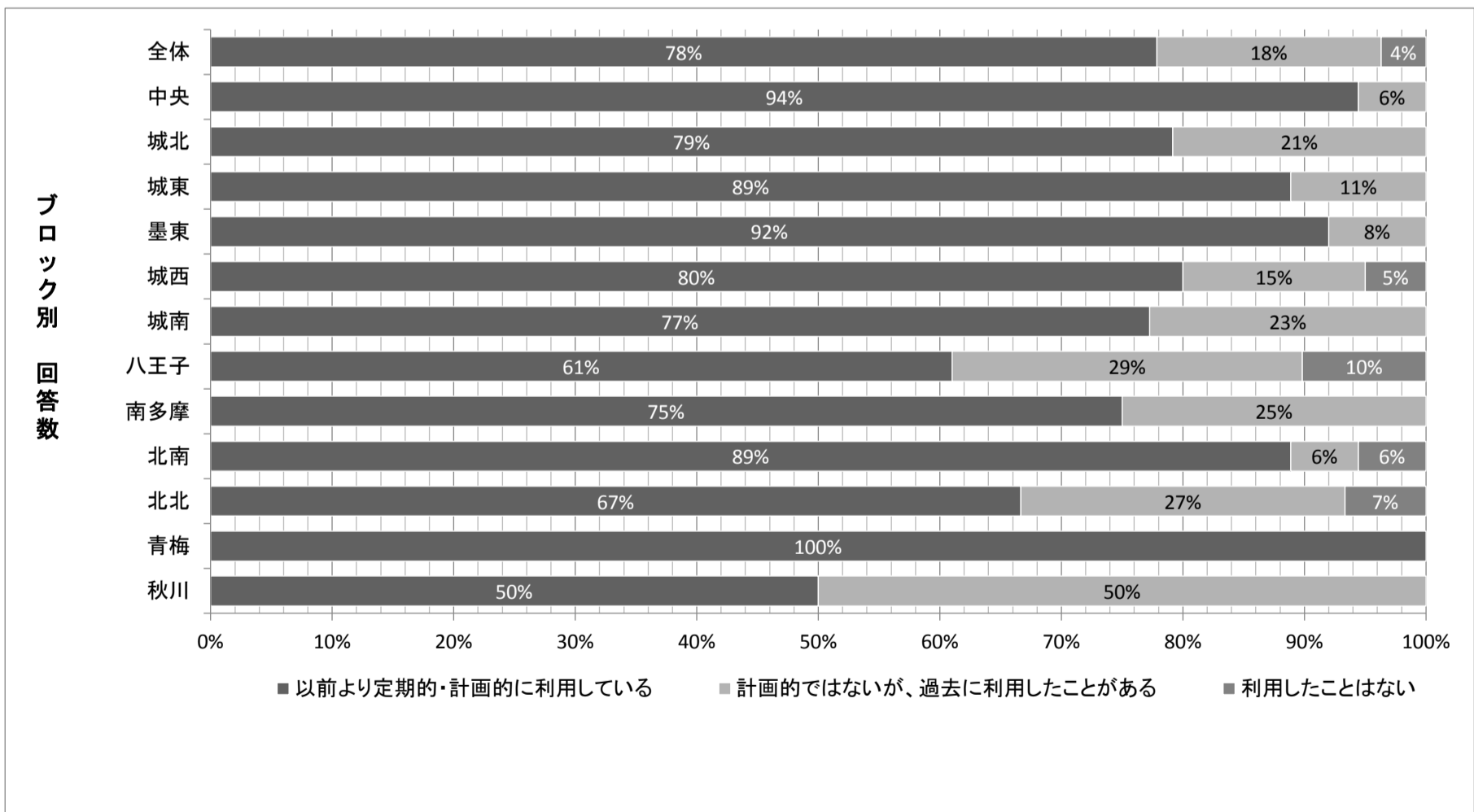
調査結果

1 ブロック別回収率

ブロック	回答数
中央	19
城北	25
城東	28
墨東	27
城西	20
城南	24
八王子	62
南多摩	12
北南	20
北北	15
青梅	2
秋川	2
合計	256

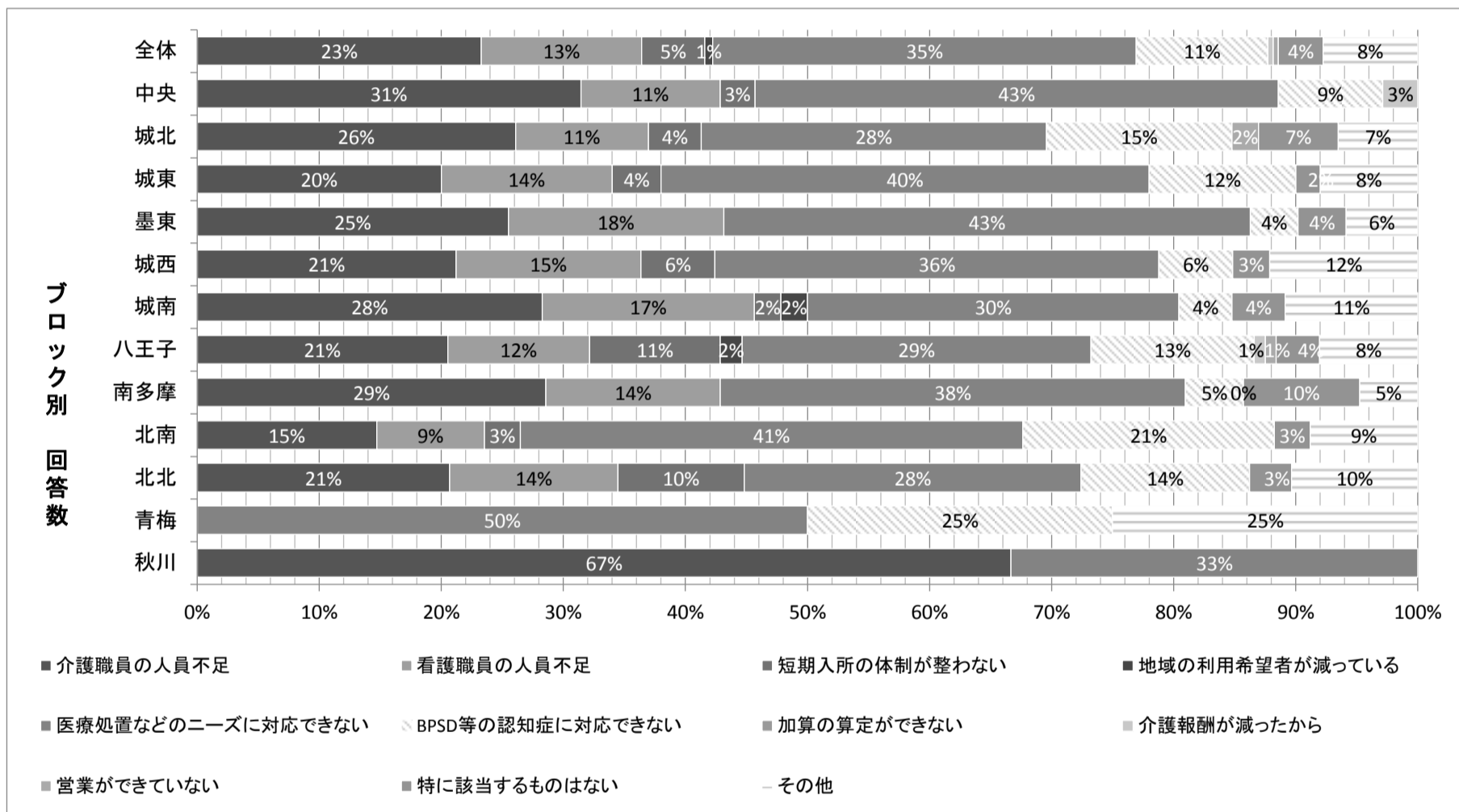


2 特養のショートステイの利用経験



3 『特養』ショートステイ事業の問題点と思われる事(特にあてはまるもの2つに○)

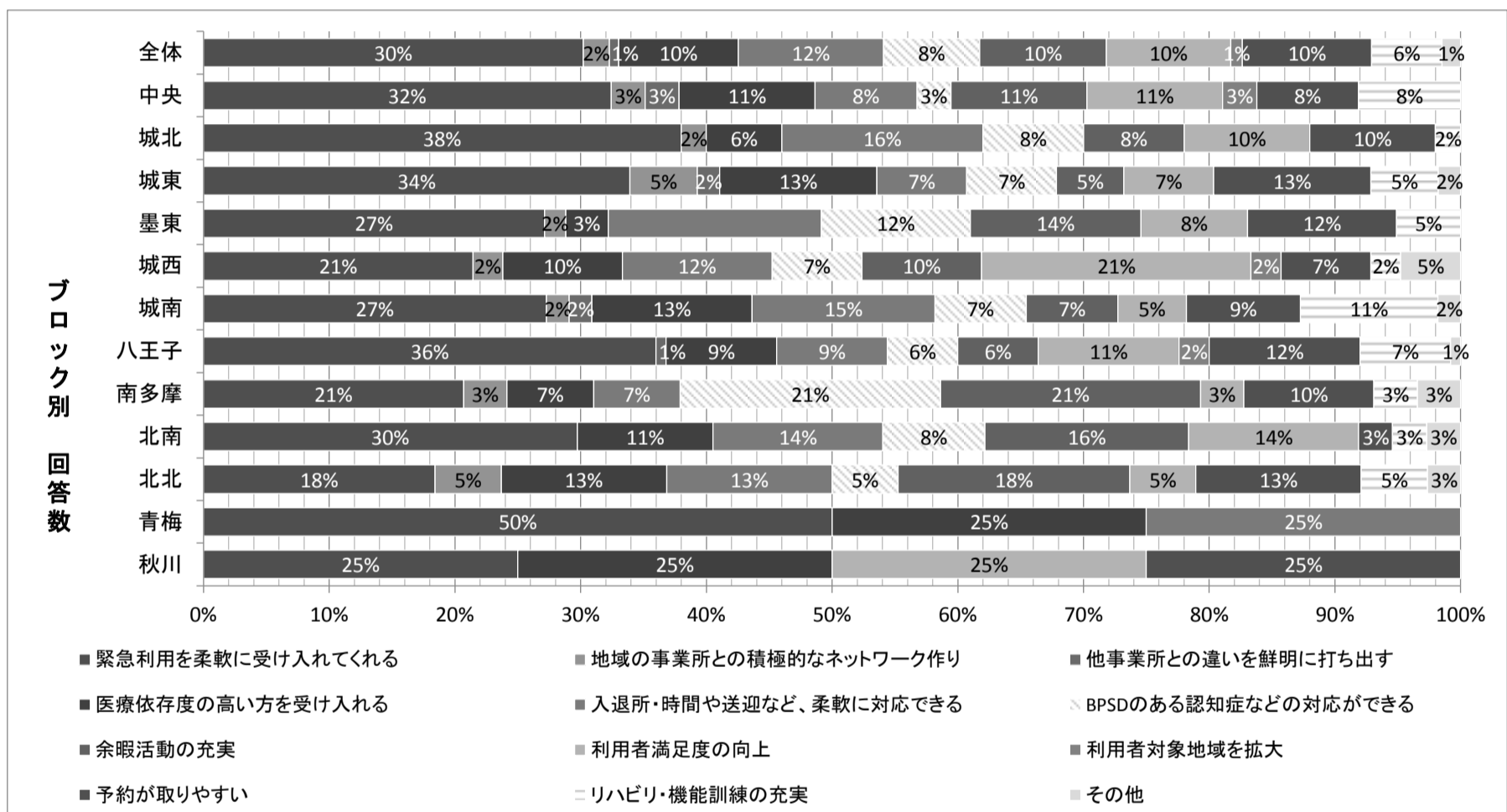
ブロック	介護職員の人員不足	看護職員の人員不足	短期入所の体制が整わない	地域の利用希望者が減っている	医療処置などのニーズに対応できない	BPSD等の認知症に対応できない	加算の算定ができない	介護報酬が減ったから	営業ができていない	特に該当するものはない	その他
全体	108	61	24	3	161	50	0	2	2	17	36
中央	11	4	1	0	15	3	0	1	0	0	0
城北	12	5	2	0	13	7	0	0	1	3	3
城東	10	7	2	0	20	6	0	0	0	1	4
墨東	13	9	0	0	22	2	0	0	0	2	3
城西	7	5	2	0	12	2	0	0	0	1	4
城南	13	8	1	1	14	2	0	0	0	2	5
八王子	23	13	12	2	32	15	0	1	1	4	9
南多摩	6	3	0	0	8	1	0	0	0	2	1
北南	5	3	1	0	14	7	0	0	0	1	3
北北	6	4	3	0	8	4	0	0	0	1	3
青梅	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
秋川	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0



回答多い順(全体)	
①	医療処置などのニーズに対応できない
②	介護職員の人員不足
③	看護職員の人員不足

4 ご利用者およびご家族が、『特養』のショートステイ事業者に求めているのは何だと考えるか(特にあてはまるもの2つに○)

ブロック	緊急利用を柔軟に受け入れてくれる	地域の事業所との積極的なネットワーク作り	他事業所との違いを鮮明に打ち出す	医療依存度の高い方を受け入れる	入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できる	BPSDのある認知症などの対応ができる	余暇活動の充実	利用者満足度の向上	利用者対象地域を拡大	予約が取りやすい	リハビリ・機能訓練の充実	その他
全体	162	11	4	51	62	41	54	53	5	55	30	8
中央	12	1	1	4	3	1	4	4	1	3	3	0
城北	19	1	0	3	8	4	4	5	0	5	1	0
城東	19	3	1	7	4	4	3	4	0	7	3	1
墨東	16	1	0	2	10	7	8	5	0	7	3	0
城西	9	1	0	4	5	3	4	9	1	3	1	2
城南	15	1	1	7	8	4	4	3	0	5	6	1
八王子	45	0	1	11	11	7	8	14	3	15	9	1
南多摩	6	1	0	2	2	6	6	1	0	3	1	1
北南	11	0	0	4	5	3	6	5	0	1	1	1
北北	7	2	0	5	5	2	7	2	0	5	2	1
青梅	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
秋川	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0

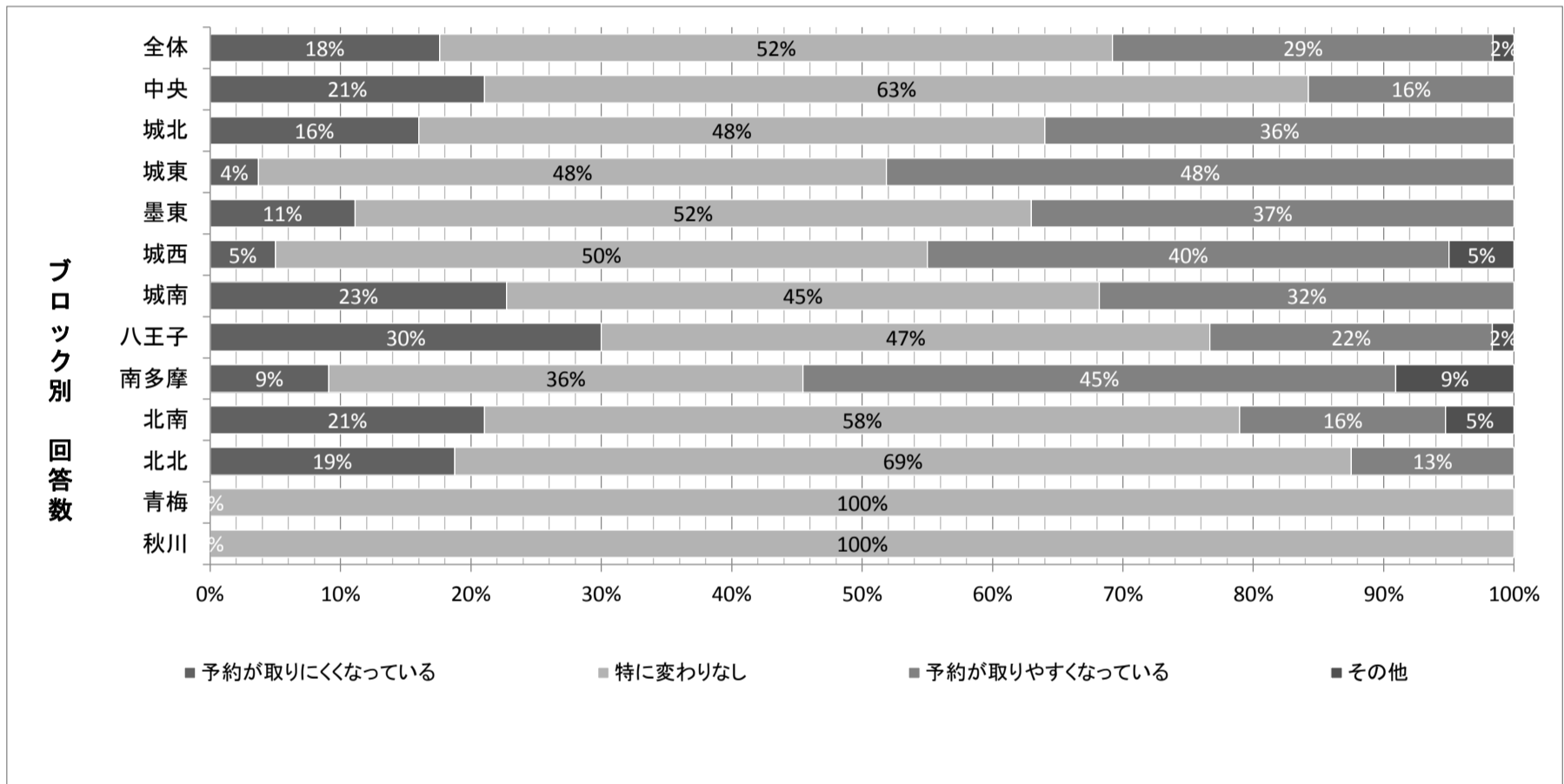


回答多い順(全体)	
①	緊急利用を柔軟に受け入れてくれる
②	入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できる
③	余暇活動の充実
(ほぼ同率)	予約が取りやすい

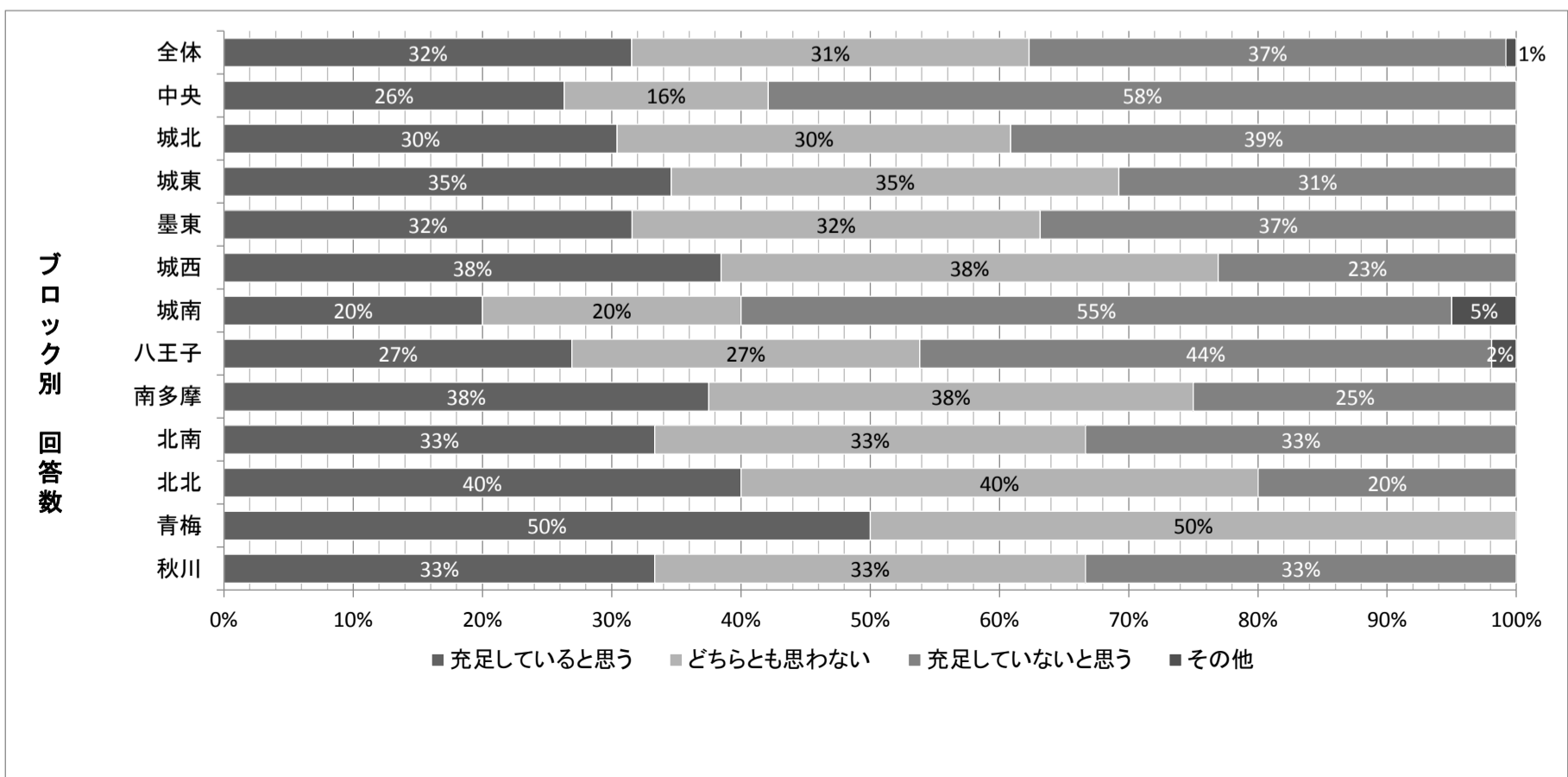
5 ショートステイの予約・受付等について最もあてはまるもの(特にあてはまるもの1つに○)

ブロック	予約が取りにくくなっている	特に変わりなし	予約が取りやすくなっている	その他
全体	44	129	73	4
中央	4	12	3	0
城北	4	12	9	0
城東	1	13	13	0
墨東	3	14	10	0
城西	1	10	8	1
城南	5	10	7	0
八王子	18	28	13	1
南多摩	1	4	5	1
北南	4	11	3	1
北北	3	11	2	0
青梅	0	2	0	0
秋川	0	2	0	0

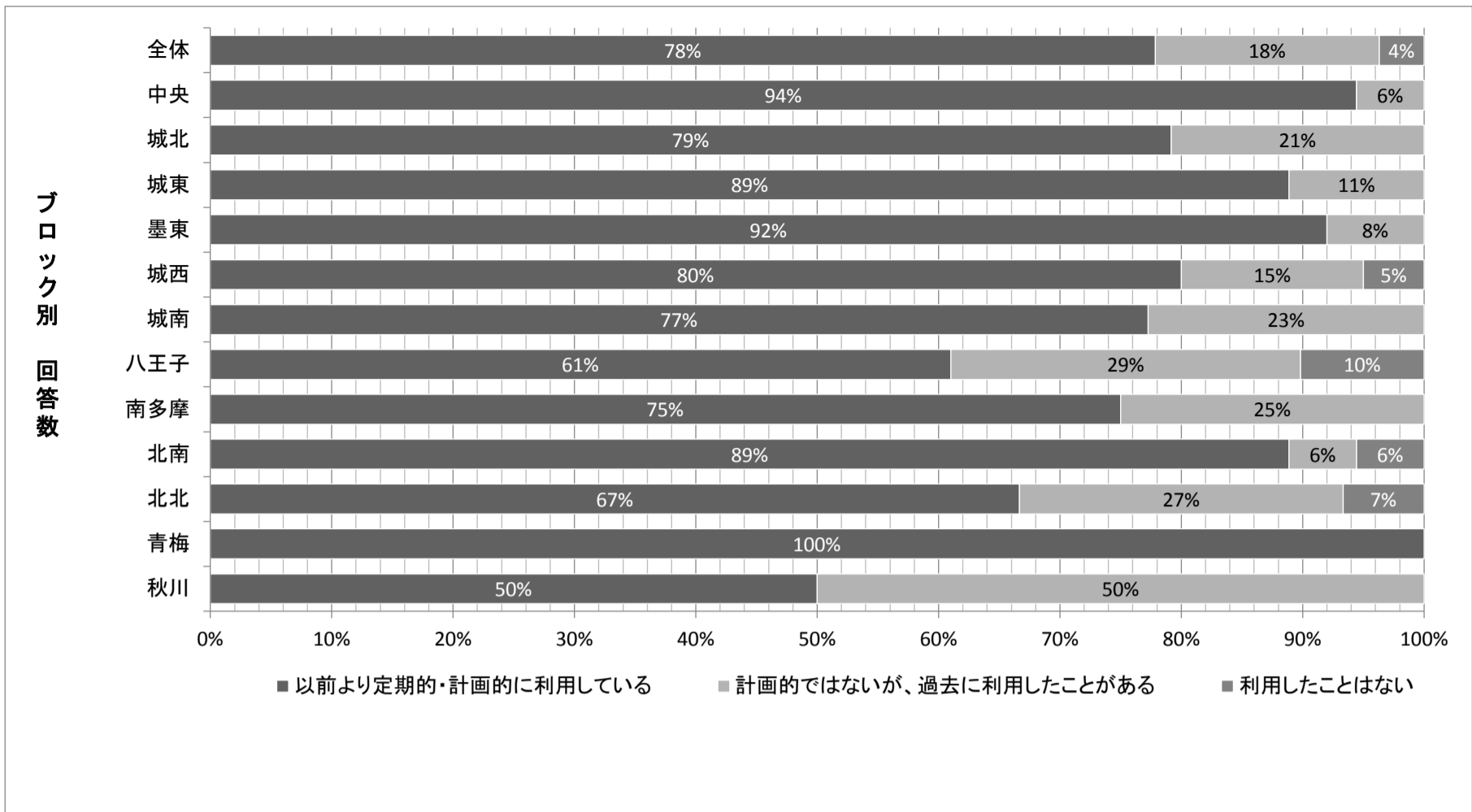
	区部平均	市町村部平均
増えている	12.9%	23.6%
変わりなし	50.7%	52.7%
減っている	35.7%	20.9%
その他	0.7%	2.7%



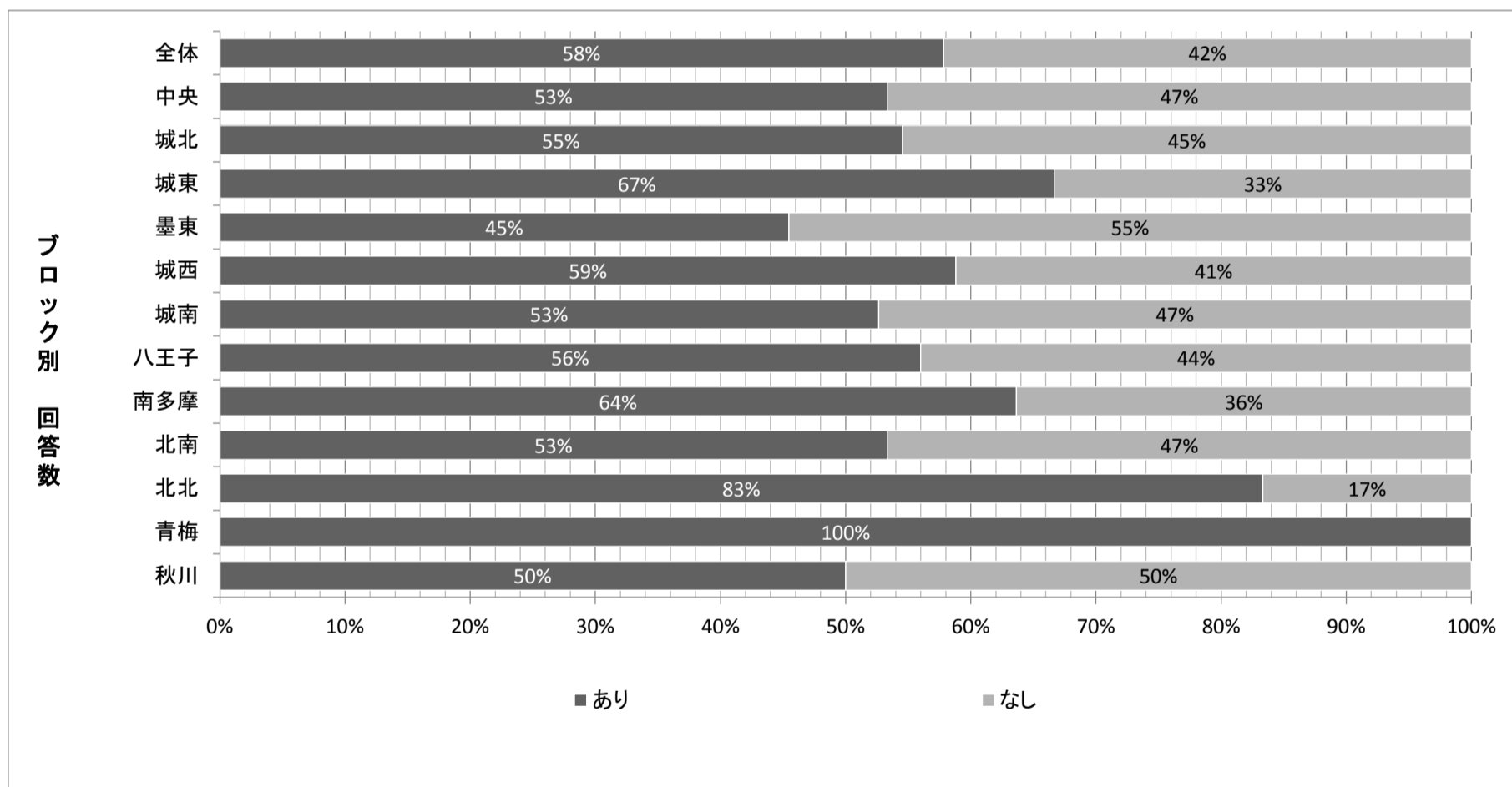
6 事業所のエリアにある『特養』以外のショートステイ事業所の数は充足していると思うか(特にあてはまるもの1つに○)



7-1 特養のショートステイの利用経験

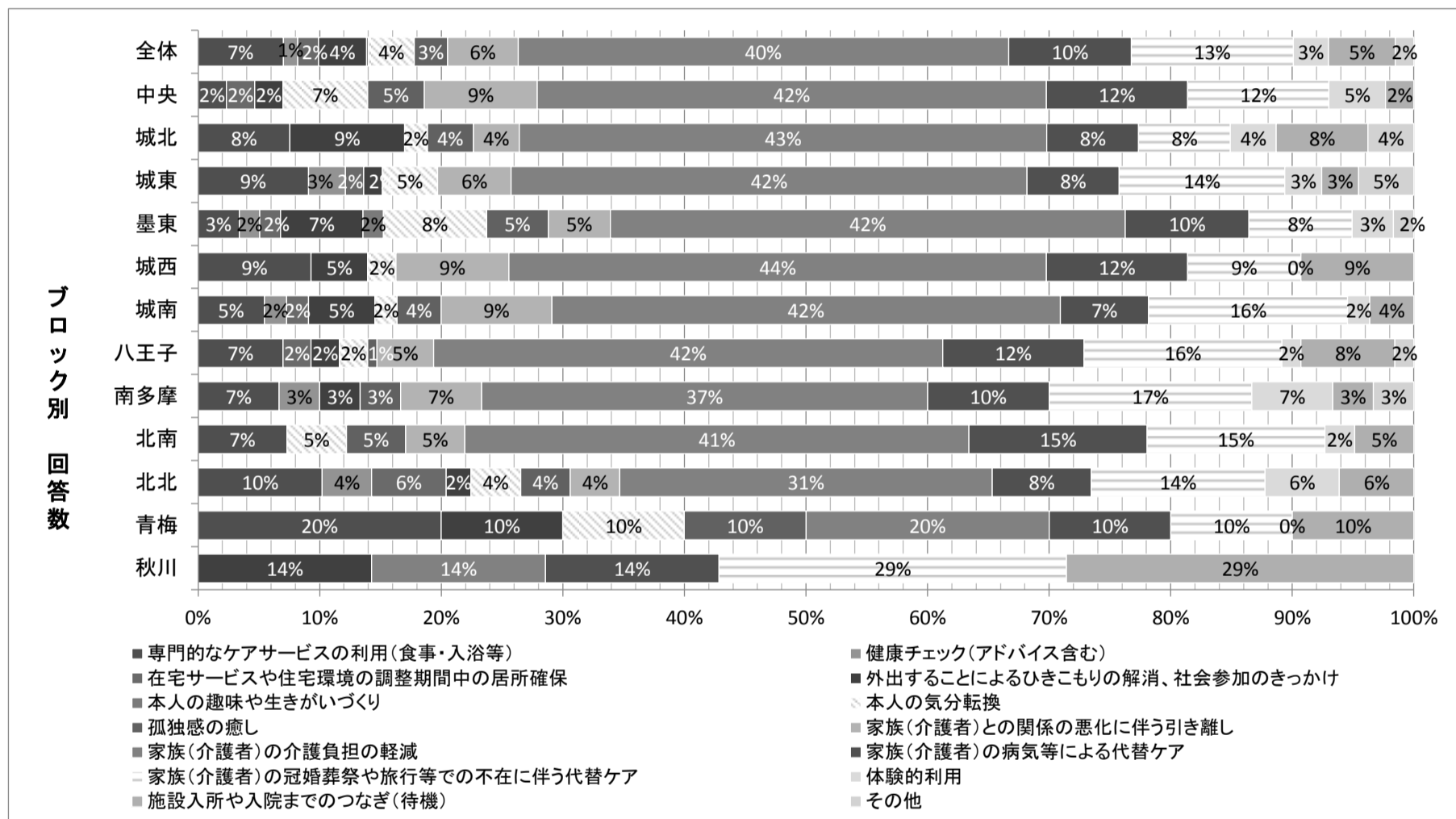


7-2 5の利用者のうち、緊急利用のケースの経験



8 緊急利用を除く利用の目的(特にあてはまるもの2つに○)

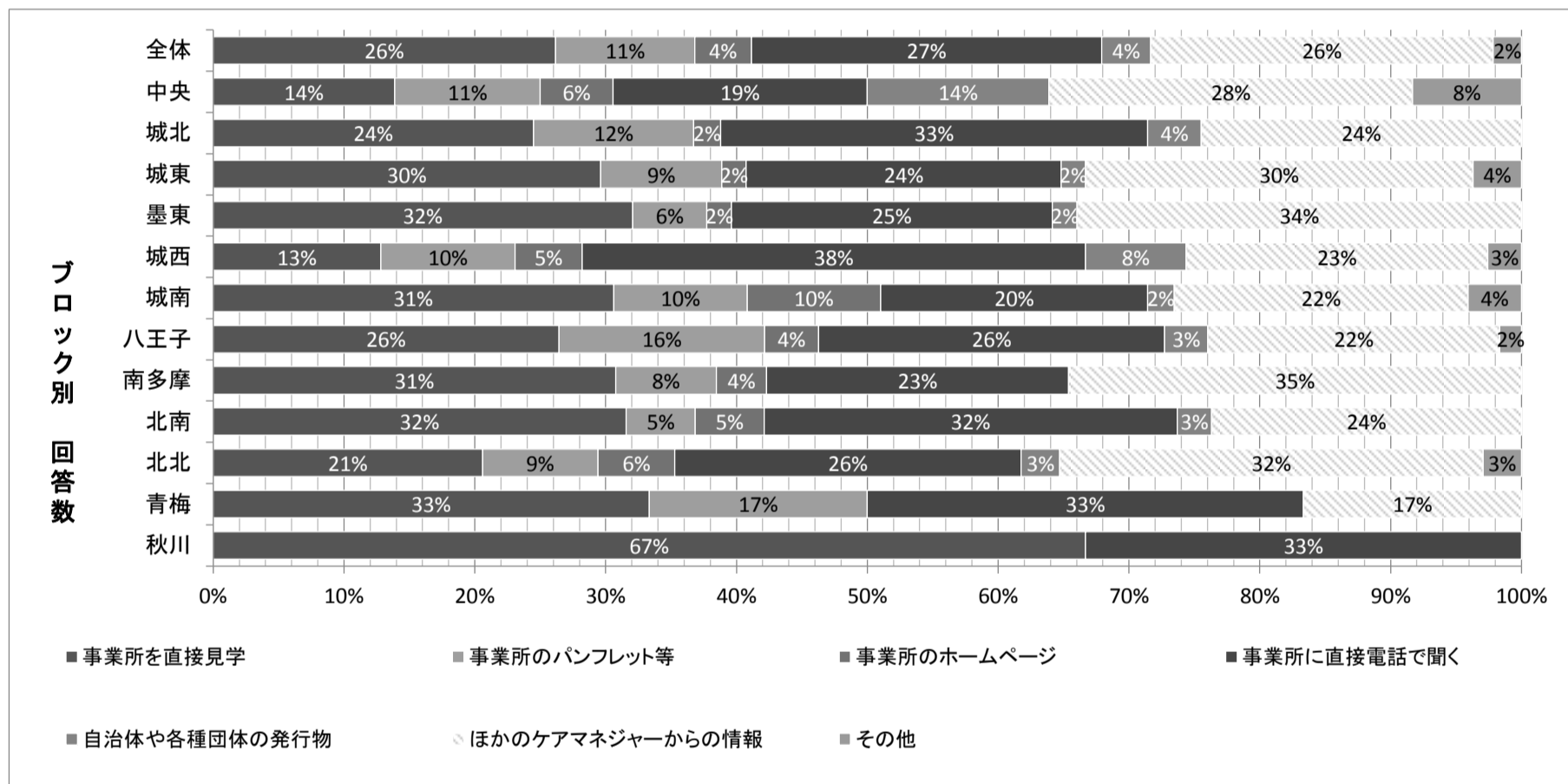
ブロック	専門的なケアサービスの利用(食事・入浴等)	健康チェック(アドバイス含む)	在宅サービスや住宅環境の調整期間中の居所確保	外出することによるひきこもりの解消、社会参加のきっかけ	本人の趣味や生きがいづくり	本人の気分転換	孤独感の癒し	家族(介護者)との関係の悪化に伴う引き離し	家族(介護者)の介護負担の軽減	家族(介護者)の病気等による代替ケア	家族(介護者)の冠婚葬祭や旅行等での不在に伴う代替ケア	体験的利用	施設入所や入院までのつなぎ(待機)	その他
全体	41	7	10	23	1	22	16	34	236	59	78	17	32	9
中央	1	0	1	1	0	3	2	4	18	5	5	2	1	0
城北	4	0	0	5	0	1	2	2	23	4	4	2	4	2
城東	6	2	1	1	0	3	0	4	28	5	9	2	2	3
墨東	2	1	1	4	1	5	3	3	25	6	5	2	0	1
城西	4	0	0	2	0	1	0	4	19	5	4	0	4	0
城南	3	1	1	3	0	1	2	5	23	4	9	1	2	0
八王子	9	0	3	3	0	3	1	6	54	15	21	2	10	2
南多摩	2	1	0	1	0	0	1	2	11	3	5	2	1	1
北南	3	0	0	0	0	2	2	2	17	6	6	1	2	0
北北	5	2	3	1	0	2	2	2	15	4	7	3	3	0
青梅	2	0	0	1	0	1	1	0	2	1	1	0	1	0
秋川	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	2	0



回答多い順(全体)	
①	家族(介護者)の介護負担の軽減
②	家族(介護者)の冠婚葬祭や旅行等での不在に伴う代替ケア
③	家族(介護者)の病気等による代替ケア

9 当利用者に合うショートステイ事業所を探す際の見つけ方(特にあてはまるもの2つに○)

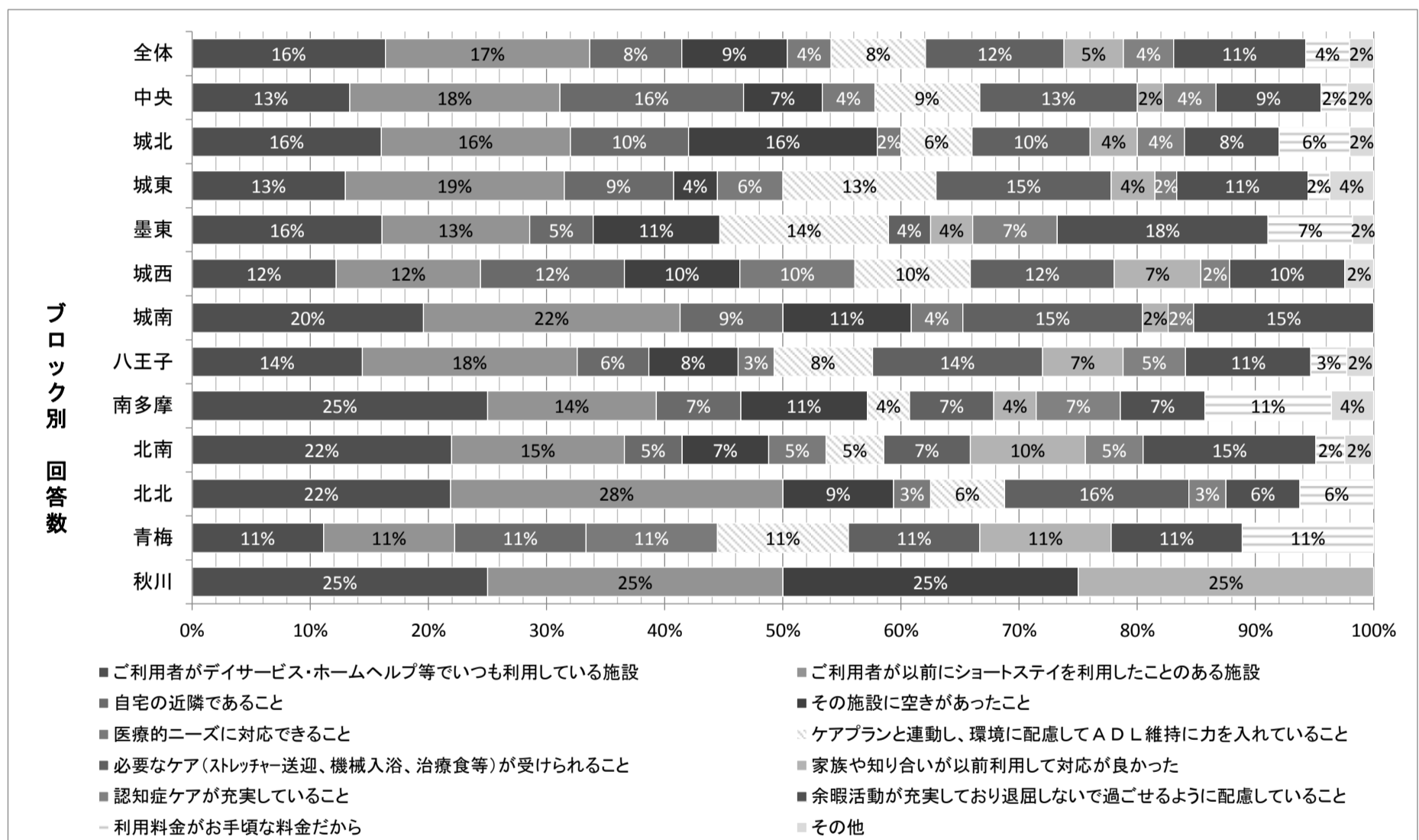
ブロック	事業所を直接見学	事業所のパンフレット等	事業所のホームページ	事業所に直接電話で聞く	自治体や各種団体の発行物	ほかのケアマネジャーからの情報	その他
全体	133	54	22	136	19	133	11
中央	5	4	2	7	5	10	3
城北	12	6	1	16	2	12	0
城東	16	5	1	13	1	16	2
墨東	17	3	1	13	1	18	0
城西	5	4	2	15	3	9	1
城南	15	5	5	10	1	11	2
八王子	32	19	5	32	4	27	2
南多摩	8	2	1	6	0	9	0
北南	12	2	2	12	1	9	0
北北	7	3	2	9	1	11	1
青梅	2	1	0	2	0	1	0
秋川	2	0	0	1	0	0	0



回答多い順(全体)	
①	事業所に直接電話で聞く
②	ほかのケアマネジャーからの情報
③	事業所を直接見学

10 担当の利用者(ご家族含め)が施設を選ぶ際に、最も勘案する要素(特にあてはまるもの2つに○)

ブロック	ご利用者がデイサービス・ホームヘルプ等でいつも利用している施設	ご利用者が以前にショートステイを利用したことがある施設	自宅の近隣であること	その施設に空きがあったこと	医療的ニーズに対応できること	ケアプランと連動し、環境に配慮してADL維持に力を入れていること	必要なケア(ストレッチャー送迎、機械入浴、治療食等)が受けられること	家族や知り合いが以前利用して対応が良かったこと	認知症ケアが充実していること	余暇活動が充実しており退屈しないで過ごせるように配慮していること	利用料金がお手頃な料金だから	その他
全体	88	93	42	48	20	43	63	27	23	60	20	11
中央	6	8	7	3	2	4	6	1	2	4	1	1
城北	8	8	5	8	1	3	5	2	2	4	3	1
城東	7	10	5	2	3	7	8	2	1	6	1	2
墨東	9	7	3	6	0	8	2	2	4	10	4	1
城西	5	5	5	4	4	4	5	3	1	4	0	1
城南	9	10	4	5	2	0	7	1	1	7	0	0
八王子	19	24	8	10	4	11	19	9	7	14	4	3
南多摩	7	4	2	3	0	1	2	1	2	2	3	1
北南	9	6	2	3	2	2	3	4	2	6	1	1
北北	7	9	0	3	1	2	5	0	1	2	2	0
青梅	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0
秋川	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

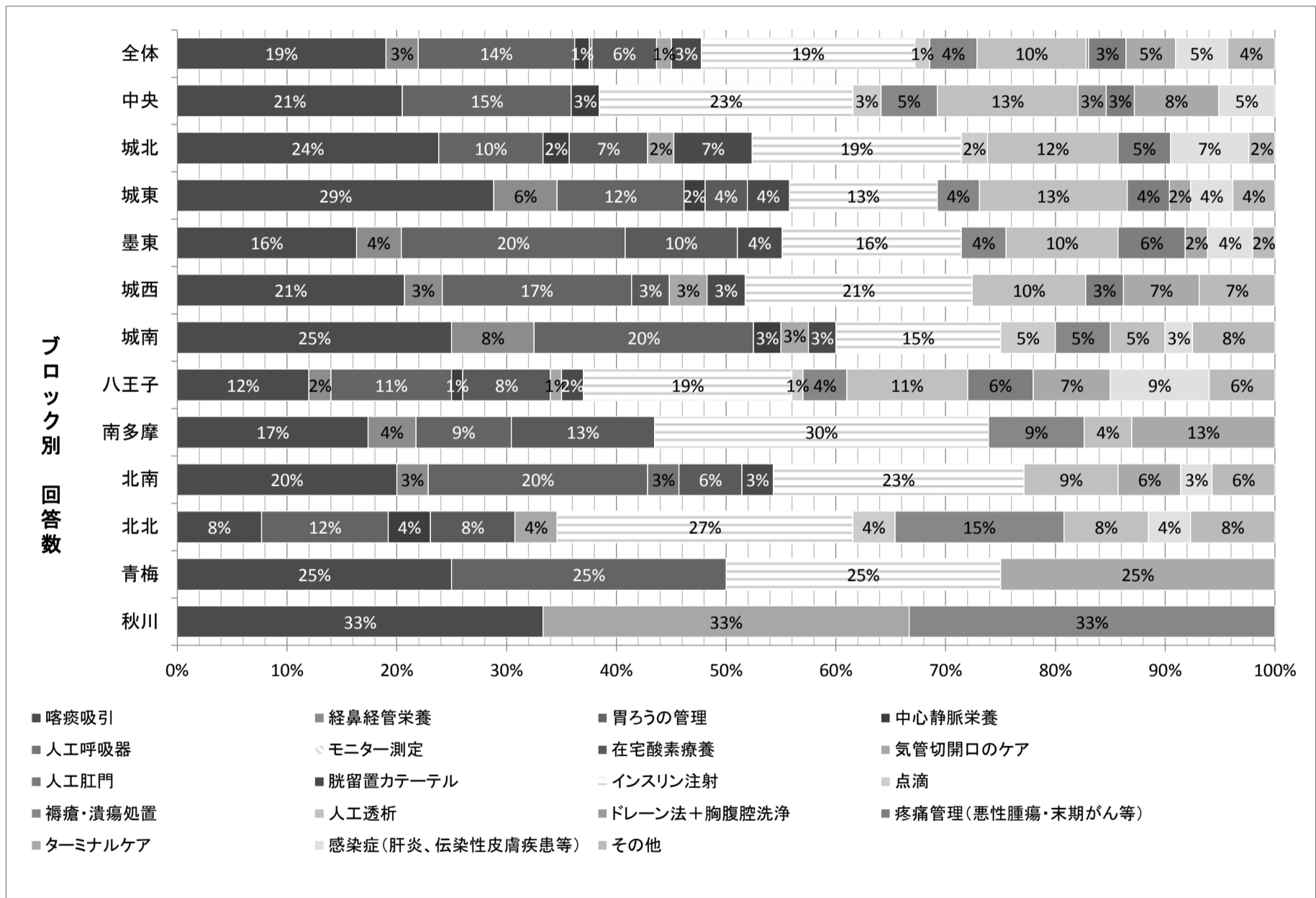


回答多い順(全体)	
①	ご利用者が以前にショートステイを利用したことがある施設
②	ご利用者がデイサービス・ホームヘルプ等でいつも利用している施設
③	必要なケア(ストレッチャー送迎、機械入浴、治療食等)が受けられること

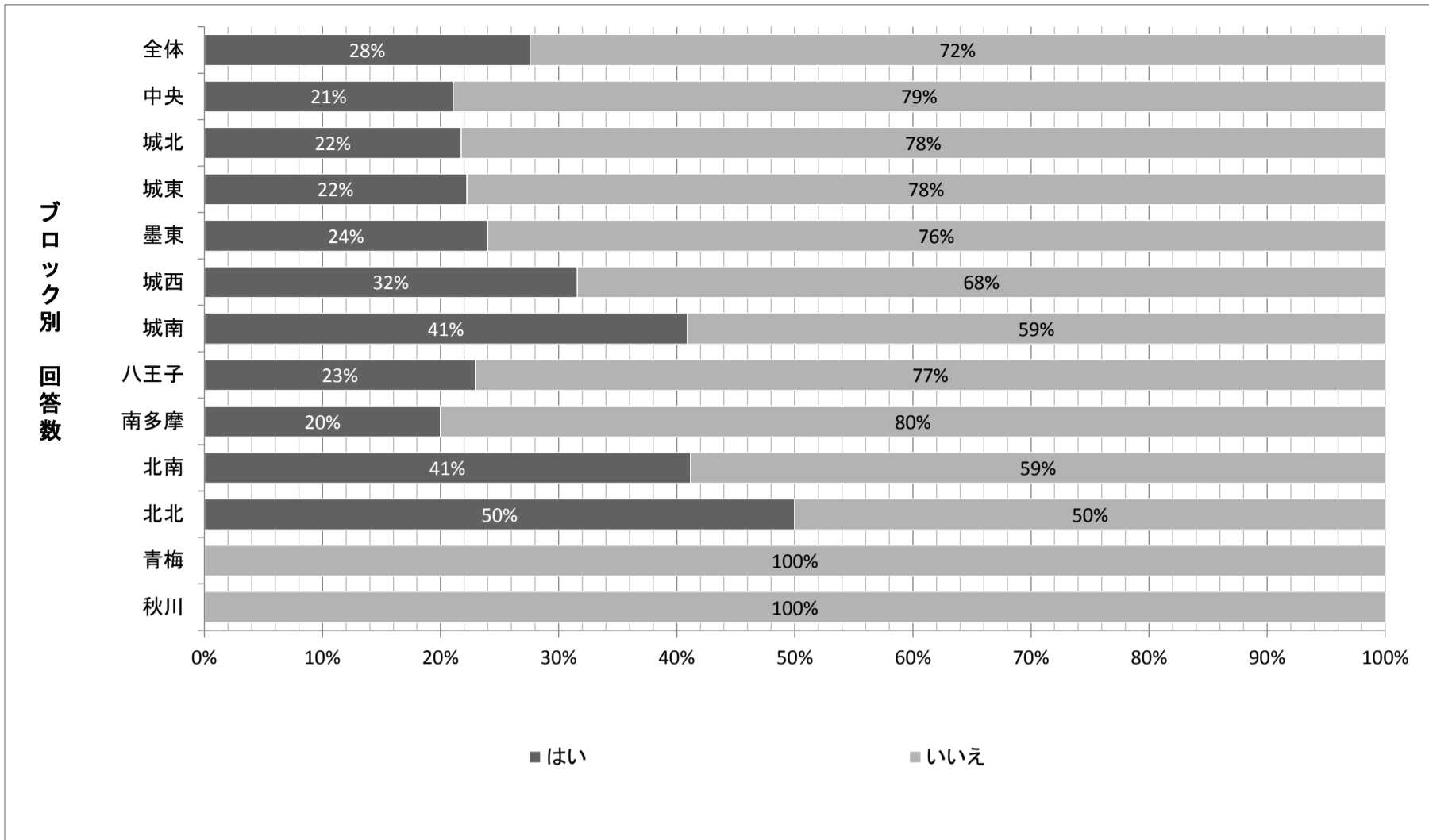
11 今までに特養のショートステイ事業所を利用する際に、医療処置の対応でネックとなったもの

(特にあてはまるもの2つに○)

ブロック	喀痰吸引	経鼻経管栄養	胃ろうの管理	中心静脈栄養	人工呼吸器	モニター測定	在宅酸素療養	気管切開口のケア	人工肛門	膀胱留置カテーテル	インスリン注射	点滴	褥瘡・潰瘍処置	人工透析	ドレーン法+胸腹腔洗浄	疼痛管理(悪性腫瘍・末期がん等)	ターミナルケア	感染症(肝炎、伝染性皮膚疾患等)	その他
全体	84	13	63	6	1	0	26	6	0	12	86	6	19	44	1	15	20	21	19
中央	8	0	6	1	0	0	0	0	0	0	9	1	2	5	1	1	3	2	0
城北	10	0	4	1	0	0	3	1	0	3	8	1	0	5	0	2	0	3	1
城東	15	3	6	1	0	0	2	0	0	2	7	0	2	7	0	2	1	2	2
墨東	8	2	10	0	0	0	5	0	0	2	8	0	2	5	0	3	1	2	1
城西	6	1	5	0	0	0	1	1	0	1	6	0	0	3	0	1	2	0	2
城南	10	3	8	1	0	0	0	1	0	1	6	2	2	2	0	0	0	1	3
八王子	12	2	11	1	0	0	8	1	0	2	19	1	4	11	0	6	7	9	6
南多摩	4	1	2	0	0	0	3	0	0	0	7	0	2	1	0	0	3	0	0
北南	7	1	7	0	1	0	2	0	0	1	8	0	0	3	0	0	2	1	2
北北	2	0	3	1	0	0	2	1	0	0	7	1	4	2	0	0	0	1	2
青梅	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
秋川	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0



回答多い順(全体)	
①	インスリン注射
②	喀痰吸引
③	胃ろうの管理



特養のショートステイへの意識調査 調査票

※事業所管理者または介護支援専門員がご記入ください

事業所名 : _____ 区市町村 : _____ (区・市・町・村)

記入者 : _____ ケアマネジャーの経験年数 : _____ 年

問 1 貴事業所の運営主体についてあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 株式会社	3. 有限会社	5. 特定非営利活動法人
2. 社会福祉法人 (社協を含む)	4. 社団法人 (医療法人・財団法人を含む)	6. その他 ()

問 2-1 貴事業所の併設施設(注1)についてお尋ねします。併設施設の状況をご回答ください。

1. 併設施設あり⇒問2-2へ	2. 併設施設なし⇒問3へ	(注1) この設問における「併設施設」とは、同一事業又は、系列事業で、同一建物内・同一敷地内・隣接敷地内にある施設・事務所を指しています。
-----------------	---------------	---

問 2-2 併設施設の実施するサービスについて、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 介護老人福祉施設	6. サービス付き高齢者住宅	11. 訪問看護
2. 介護老人保健施設	7. 短期入所(生活・療養)介護施設	12. 夜間対応型訪問介護
3. 介護療養型医療施設	8. デイサービス	13. 地域包括支援センター・在宅介護支援センター
4. 病院・診療所	9. 通所リハビリテーション	14. その他 ()
5. 有料老人ホーム	10. 訪問介護	

問 3 あなたが平成 28 年 8 月にケアプラン作成を行ったご利用者(請求ベース)のうち、ショートステイをご利用した方は何人ですか？

_____ 人	うち予防 _____ 人
---------	--------------

問 4-1 あなたはこれまでに『特養』のショートステイを利用したことがありますか (あてはまるところに○をしてください)

1. 以前より定期的・計画的に利用している	3. 利用したことはない ⇒問4-3へ
2. 計画的ではないが、過去に利用したことがある ⇒問4-2へ	

問 4-2 上記の利用者のうち、緊急利用のケースはありましたか？ (どちらかに○して下さい)

1. あり→緊急の理由 ()	2. なし
-----------------	-------

問 4-3 利用していない理由についてお聞かせください。 (あてはまるものすべてに○して下さい)

1. ショートステイを利用する方がいない	5. お泊りデイを利用している
2. 単独型のショートステイ施設を利用している	6. 特養以外の事業所が空いているから
3. 老健のショートステイを利用している	7. その他の理由 ()
4. 療養型のショートステイを利用している	

問 5 緊急利用を除く利用の目的はなんですか。特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 専門的なケアサービスの利用 (食事・入浴等)	8. 家族(介護者)との関係の悪化に伴う引き離し
2. 健康チェック (アドバイス含む)	9. 家族(介護者)の介護負担の軽減
3. 在宅サービスや住宅環境の調整期間中の居所確保	10. 家族(介護者)の病気等による代替ケア
4. 外出することによるひきこもりの解消、社会参加のきっかけ	11. 家族(介護者)の冠婚葬祭や旅行等での不在に伴う代替ケア
5. 本人の趣味や生きがいがづくり	12. 体験的利用
6. 本人の気分転換	13. 施設入所や入院までのつなぎ (待機)
7. 孤独感の癒し	14. その他 ()

問6 あなたがご自分の担当利用者に合うショートステイ事業所を探す際、どのようにようにして見つけますか？特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 事業所を直接見学	4. 事業所に直接電話で聞く	7. その他
2. 事業所のパンフレット等	5. 自治体や各種団体の発行物	()
3. 事業所のホームページ	6. ほかのケアマネジャーからの情報	

問7 あなたの担当の利用者（ご家族含め）が施設を選ぶ際に、最も勘案する要素は何だと思えますか？特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. ご利用者がデイサービス・ホームヘルプ等でいつも利用している施設	7. 必要なケア（ストレッチャー送迎、機械入浴、治療食等）が受けられること
2. ご利用者が以前にショートステイを利用したことのある施設	8. 家族や知り合いが以前利用して対応が良かった
3. 自宅の近隣であること	9. 認知症ケアが充実していること
4. その施設に空きがあったこと	10. 余暇活動が充実しており退屈しないで過ごせるように配慮していること
5. 医療的ニーズに対応できること	11. 利用料金がお手頃な料金だから
6. ケアプランと連動し、環境に配慮してADL維持に力を入れていること	12. その他 ()

問8 あなたが今までに『特養』のショートステイ事業所を利用する際に、医療処置の対応でネックとなったものはどれでしょうか。特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 喀痰吸引	7. 在宅酸素療養	13. 褥瘡・潰瘍処置	17. ターミナルケア
2. 経鼻経管栄養	8. 気管切開口のケア	14. 人工透析	18. 感染症 (例：肝炎、伝染性皮膚疾患等)
3. 胃ろうの管理	9. 人工肛門	15. ドレーン法＋胸腹腔洗浄	19. その他 ()
4. 中心静脈栄養	10. 膀胱留置カテーテル	16. 疼痛管理 (悪性腫瘍・末期がん等)	
5. 人工呼吸器	11. インスリン注射		
6. モニター測定	12. 点滴		

問9 あなたからみて、『特養』ショートステイ事業の問題点と思われる事について特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 介護職員の人員不足	5. 医療処置などのニーズに対応できない	10. 営業ができていない
2. 看護職員の人員不足	6. BPSD等の認知症に対応できない	11. 特に該当するものはない
3. 短期入所の体制が整わない	7. 加算の算定ができない	12. その他 ()
4. 地域の利用希望者が減っている	8. 介護報酬が減ったから	

問10-1 あなたからみて、ショートステイの予約・受付等について最もあてはまるもの一つに○をつけて下さい。

予約状況 平成27年4月以降 の傾向として	1. 予約が取りにくくなっている ⇒問10-2	3. 予約が取りやすくなっている ⇒問10-3
	2. 特に変わりなし	4. その他 ()

問10-2 予約が取りにくくなったのはなぜだと思えますか？（あてはまるもの一つに○して下さい）

1. 各事業所をまわって営業・連携を図っているから	5. リハビリや余暇が充実し、利用後もADLが保たれているから
2. 医療依存度の高い方を受け入れられないから	6. 利用できるベッド数が減った又は無くなったから
3. 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できるようになったから	7. その他 ()
4. BPSDのある認知症などの対応ができるようになったから	

問 10-3 予約が取りやすくなったのはなぜだと考えますか？ (あてはまるもの一つに○して下さい)

1. 同地域内の他の施設を利用しているため	6. 利用ごとにADLが低下してしまう傾向があるから
2. 医療依存度の高い方を受けているから	7. 利用できるベッド数が増えたから
3. 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できなくなったから	8. 地域のどこの事業所も空いている状況だから
4. BPSDのある認知症などの対応ができないから	9. その他 ()
5. 他の事業所などとの連携が図れてないから	

問 11-1 あなたの事業所のエリアにある『特養』以外のショートステイ事業所のことなどについて。あなたのエリアのショートステイ事業所の数は充足していると思いますか？ (あてはまるもの一つに○)

1. 充足していると思う	} ⇒問 12へ	3. 充足していないと思う ⇒問 11-2へ
2. どちらとも思わない		4. その他 ()

問 11-2 あなたのエリアに、必要なショートステイ事業所のタイプは？ (あてはまるもの一つに○)

1. 介護老人保健施設	4. 短期入所専用施設	7. 小規模多機能型居宅介護
2. 介護療養型医療施設	5. 有料老人ホーム	8. その他 ()
3. 短期入所療養介護施設	6. お泊りデイ	

問 12 ショートステイ事業者から、ショートステイ利用後に担当利用者の状況や様子などを把握しやすかったですか？ (あてはまる方どちらかに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 13 あなたからみて、担当利用者(ご家族含め)が『特養』のショートステイを利用する又は利用したいと思うのは、なぜだと考えますか。 特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 緊急利用を柔軟に受け入れてくれるから	6. BPSDのある認知症などの対応ができる
2. 施設の相談員との繋がりがあるから	7. 余暇活動などが充実しているから
3. そのまま施設入居に繋げられるから	8. 予約が取りやすく、相談しやすいから
4. 医療依存度の高い方を受け入れるから	9. リハビリ・機能訓練が充実しているから
5. 入退所時間や送迎等、柔軟に対応できる	10. その他 ()

問 14 ご利用者およびご家族が、『特養』のショートステイ事業者に求めているのは何だと考えますか。 特にあてはまるもの2つに○をつけて下さい。

1. 緊急利用を柔軟に受け入れてくれる	7. 余暇活動の充実
2. 地域の事業所との積極的なネットワーク作り	8. 利用者満足度の向上
3. 他事業所との違いを鮮明に打ち出す	9. 利用者対象地域を拡大
4. 医療依存度の高い方を受け入れる	10. 予約が取りやすい
5. 入退所・時間や送迎など、柔軟に対応できる	11. リハビリ・機能訓練の充実
6. BPSDのある認知症などの対応ができる	12. その他 ()

問 15 あなたが思う『特養』のショートステイについて、ご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

※調査票はこれで終了です。回答にご協力ありがとうございました。

9月26日(月)までにご返送ください。

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
平成28年度 特養分科会 ショートステイあり方検討委員会名簿

任期 平成27年4月1日～平成29年3月31日

No.	所属	氏名
1	介護センターきらら	仁平 光恵
2	菊かおる園	北島 直子
3	いずみえん	小河 和泉
4	小松原園	川津 明弘
5	サルビア荘	石川 典子
6	介護老人保健施設 池袋えびすの郷	大渡 昇
7	ハピネスあだち	狩野 由利子
8	品川区立荏原特別養護老人ホーム	青木 健
9	パール代官山	入江 祐介
10	マザアス日野	来島 みのり

○東京都高齢者福祉施設協議会について

東京都社会福祉協議会(東社協)東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。

会員が相互に研さんを重ねながらサービスの質を高め、利用者主体による高齢者福祉の発展を目的として、施設で働く職員を対象とした研修会や実践研究発表会(アクティブ福祉 in 東京)、調査研究活動、制度の拡充を目指した提言活動(ソーシャルアクション)などを行っています。



東京都高齢者福祉施設協議会
イメージキャラクター「アクティブル」

ケアマネージャーによる 特養ショートステイに対する意識調査 報告書

2017年3月

《発行》

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

特養分科会 ショートステイのあり方検討委員会

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1

(電話) 03-3268-7172

(ファックス) 03-3268-0635

(メール) kourei@tcsw.tvac.or.jp

※無断 転載 ・ 複製 を禁じます。